

第13回宇和島市・北宇和郡中学校総合体育大会

期 日 平成30年 5月30日(水)
31日(木)

(雨天決行 一部順延)

会 場

大会本部	宇和島市立城北中学校
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園
バスケットボール	宇和島市総合体育館
卓球	鬼北総合公園
ソフトテニス	津島プレーランド
軟式野球	丸山公園野球場・吉田公園野球場
サッカー	丸山公園多目的グラウンド
柔道	宇和島市総合体育館
剣道	三間町国民体育館
体操競技(※1)	宇和島市総合体育館
テニス	三間町運動公園
相撲	愛媛県立津島高等学校
陸上競技(※2)	丸山公園陸上競技場
水泳競技(※2)	宇和島市立三間中学校

(※1) 6月 1日(金)開催

(※2) 6月13日(水)開催

主 催

宇和島市教育委員会
松野町教育委員会
鬼北町教育委員会
宇和島市中学校体育連盟
北宇和郡学校体育会

大会テーマ
躍動 ～光り輝け技と夢～

開会式次第

- 1 開式宣言
- 2 優勝杯返還
- 3 挨拶
- 4 審判長注意
- 5 選手宣誓
- 6 閉会式

開会式担当者

競技名	会場	挨拶	選手宣誓	開場時刻	開会式	競技開始
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	松野中学校長	岩崎 美輝 (宇南)	8:00	9:00	9:30
バスケットボール	宇和島市総合体育館	津島中学校長	清家 亜未 (吉田)	8:00	9:00	9:30
卓球	鬼北総合公園	城東中学校長	奥谷 愛里 (城北)	8:00	9:00	9:20
ソフトテニス	津島プレーランド	日吉中学校長	久保 汐 (城東)	7:50	8:50	9:10
軟式野球	丸山公園野球場	吉田中学校長	櫻井 利樹 (城東)	8:00	9:00	9:30
	吉田公園野球場	広見中学校長	五島 愛斗 (広見)	8:00	9:00	9:30
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	城南中学校長	池田 颯太 (広見)	8:00	8:30	9:30
柔道	宇和島市総合体育館	城北中学校長	和田 隼虎 (三間)	8:00	9:40	10:00
剣道	三間町国民体育館	宇和島南中等教育学校長	中平 玲央 (城東)	7:30	9:15	9:40
体操競技	宇和島市総合体育館	城北中学校長	畠山 留衣 (城北)	13:30	14:30	14:40
テニス	三間町運動公園	三間中学校長	宮本 颯馬 (三間)	7:50	8:40	9:00
相撲	愛媛県立津島高等学校	城南中学校長	豊田 哲平 (城南)	8:30	10:00	10:10
陸上競技	丸山公園陸上競技場	松野中学校長	福岡 音羽 (城東)	7:00	8:30	9:30
水泳競技	宇和島市立三間中学校	三間中学校長	井関 稀琉 (広見)	7:30	9:00	9:20

- ※ 大会2日目の競技開始時刻
 9:00 (ソフトテニス・テニス)
 9:20 (バレーボール女子・卓球)
 9:30 (バスケットボール・軟式野球)
 10:00 (サッカー)

閉会式次第

- 1 開式宣言
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 資格確認
- 5 挨拶
- 6 閉会式

大会規定

競技者・指導者・役員は、スポーツマンとしての態度で終始する。各競技責任者並びに審判長は本大会規定違反者に対しては厳重に注意しなければならない。はなはだしい場合には大会委員会で審議の上、競技資格を認めない。

1. 競技に関するもの
 - (1) 競技は全て平成30年度県総体規定並びに本大会競技規定によって行う。
 - (2) 競技者・指導者・応援者はフェアプレーの精神を賞き、相手を中傷するような言動、判定への不当な抗議等は厳に慎み、敵・味方の区別なく、さわやかな声援を送る。
 - (3) バスケットボール男女、サッカーの決勝戦、バレーボール女子の決勝トーナメント、軟式野球の準決勝以降の試合は翌日実施とする。
 - (4) ソフトテニス個人、卓球個人・テニス個人ダブルスの試合は翌日実施とする。
 2. 出場資格に関するもの
 - (1) 団体競技 1校1チーム
 - (2) 個人競技

○ 卓球	1校シングルス8名以内・ダブルス4ペア以内
○ ソフトテニス	1校5ペア以内
○ 柔道	制限しない
○ 剣道	1校10名以内
○ 体操競技	制限しない
○ テニス	1校シングルス12名以内・ダブルス6ペア以内
○ 相撲	制限しない
○ 陸上競技	1校1種目3名以内。1人2種目以内(リレーは除く)。四種競技に出場する者も他の種目に出場することができる。リレーは1校1チーム。
○ 水泳競技	1校1種目3名以内。1人2種目以内(リレーは除く)。
 - (3) 1人が2競技以上に出場することはできない(ただし、陸上競技・水泳競技は除く)。
 - (4) 外部指導者(コーチ)は、以下の12競技に限り校長の承認を得てベンチ入りすることができる。なお、外部指導者(コーチ)証を必ず付けることとする。テクニカル・アドバイザーも同様の扱いとする。

○ バレーボール	○ ソフトテニス	○ サッカー	○ テニス
○ バスケットボール	○ 軟式野球	○ 柔道	○ 相撲
○ 卓球	○ ソフトボール	○ 体操競技	○ 水泳競技
 - (5) 卓球・体操競技の2競技に限り、複数の学校における外部指導者(コーチ)として登録できる。ただし、複数の競技における外部指導者(コーチ)としては登録できない。
 - (6) 当該校以外の中学校の校長・教職員(行政関係は除く)は、外部指導者(コーチ)としての資格をもたない。ただし、「体操競技」は、選手の安全確保を目的として、当該校以外の中学校に勤務する教職員を「テクニカル・アドバイザー」として登録できる。
 - (7) けが・病気等で出場できなくなった者については、校長の承認を得て、大会当日の監督会議で変更届を提出すれば、変更を認める。(団体・ソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスのみ可)
 - (8) 2校以上の合同チームは、県中体連の合同チーム編成規程により大会への参加を認める。
 3. 開会式に関するもの
 - (1) 開会式には、全員が参加する。
 - (2) 特別な理由なく開会式に参加しなかった者は、競技参加を認めない。
 - (3) 服装はユニフォーム・体操服等、チームで統一する。
 4. 県総体出場資格に関するもの
 - (1) 団体競技

○ 参加校が8校以上の競技	2位校まで
○ 参加校が8校未満の競技	1位校のみ

 (ただし、剣道女子は1位校のみ、柔道、剣道男子は2位校まで、相撲は4位校まで、体操競技・テニスは制限しない)
 - (2) 個人競技

○ 卓球	シングルスベスト8まで・ダブルスベスト4まで
○ ソフトテニス	男子は4位まで、女子は8位まで
○ 柔道	各階級3位まで
○ 剣道	男子8位まで、女子4位まで
○ 体操競技	12位まで
○ テニス	シングルスベスト16まで・ダブルスベスト8まで
○ 相撲	4位まで
○ 陸上競技	各種目2位以内の選手(チーム)及び県標準記録を突破した上位5選手(チーム)以内。

 ただし、リレーを除く2種目で県総体出場権利を得た者のうち、県総体において女子棒高跳(オープン種目)に出場意志のある者は、獲得した2種目の出場権のうち、1種目を辞退しなければならない。

○ 水泳競技	各種目1位の選手(チーム)及び県標準記録を突破した選手(チーム)
--------	----------------------------------

 800m・1500mは県標準記録を突破しなければならない。
- ※ ソフトテニス・柔道・剣道・テニス・相撲は順位決定戦を行う(ただし、剣道・テニスは3位決定戦のみ)。

5. 表彰に関するもの
 (1) 団体競技1位校には優勝杯と学校及び登録選手全員に賞状を授与する。2位校には賞状を授与する。
 (2) 個人競技は、3位までの入賞者に賞状を授与する。
6. その他
 (1) 組合せ抽選は、第3回市郡中学校体育研修会において各校理事の責任抽選とする。
 (2) 競技責任者は大会終了後、大会結果を大会本部(城北中学校)まで報告する。
 (3) 団体競技の規定数は次のとおりとする。ただし、マネージャーは生徒に限る。
 バレーボール【12+①】 バスケットボール【15+①】 卓球【8】
 ソフトテニス【8】 軟式野球【18】 ソフトボール【18】
 サッカー【18】 柔道男子【7】 柔道女子【4】 剣道【7】
 体操競技【5】 テニス【10】 相撲【5】

※ ①……マネージャー

参加状況及び競技方法等

学校名等 競技名	性 別	城 東	城 南	城 北	吉 田	三 間	津 島	宇 南	松 野	広 見	日 吉	団体 合計	競技 方法	県 総 体 枠
バレーボール	男	○							○			2	決勝	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○		8	ゾーンリーグ・決勝トーナメント	2
バスケットボール	男	○	○	○		○	○	○				6	トーナメント	1
	女	○	○	○	○	○		○		○		7	トーナメント	1
卓球	男	○	○	○	○	○	○	○		○		8	ゾーンリーグ・決勝リーグ	2
	女	○	○	○	○	○	○	○		○		8	ゾーンリーグ・決勝リーグ	2
ソフトテニス	男	○	○	○			○	○		○	○	7	トーナメント	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○	○	9	トーナメント	2
軟式野球	共	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9	トーナメント	2
ソフトボール	女			○								1	認定	1
サッカー	共	○	○	○	○		○	○		○		7	トーナメント	1
柔道	男			○	個	○	○		○	個		4	リーグ	2
	女			○		○	○		個			3	リーグ	2
剣道	男	○	○	○	個	○		○		○	個	6	ゾーンリーグ・決勝トーナメント	2
	女		個	個	個	○				○	○	3	リーグ	1
体操競技	男											0		制限なし
	女			○								1	認定	制限なし
テニス	男					○		個				1	認定	制限なし
	女			個		○						1	認定	制限なし
相撲	男		○					個				1	認定	4
陸上競技	男	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		
	女	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		
水泳競技	男	○		○	○	○	○	○		○		7		
	女	○		○	○			○		○		5		
団体合計		15	13	18	11	14	13	14	7	14	3	122		

◎ 各校名の表記 城東・城南・城北・吉田・三間・津島・宇南・松野・広見・日吉

大会本部役員

名誉大会長

大会会長
大会副会長
顧問
参

大会委員長
大会副委員長
大会委員

宇和島市教育委員会教育長
松野町教育委員会教育長
鬼北町教育委員会教育長
宇和島市中学校体育連盟会長
北宇和郡学校体育会長
南予教育事務所長
宇和島市中学校体育連盟副会長
宇和島市立城南中学校長
宇和島市立城東中学校長
宇和島市立吉田中学校長
宇和島市立津島中学校長
愛媛県立宇和島南中等教育学校長
鬼北町立広見中学校長
鬼北町立日吉中学校長
北宇和郡学校体育会理事長
宇和島市中学校体育連盟理事長
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
北宇和郡学校体育会理事
北宇和郡学校体育会理事

金森筒池平
瀬田井田野頭止本
山本村田野浦井島本下谷岡谷井原内田
博昌
伊佐美二幸夫洋治樹雄平樹理介実範一文志樹
伊信浅久仁
一昇秀正洋弘惠啓真宗孝昌清英

救護員及び救急指定病院

競技名	会場	救護員	救急指定病院
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	宮部 美香 (宇南)	宇和島市御殿町市立宇和島病院 (25-1111)
バスケットボール	宇和島市総合体育館	松本 忍 (広見)	
卓球	鬼北総合公園	上田 宏子 (吉田)	宇和島市広小路鎌野整形外科 (24-6611)
ソフトテニス	津島プレーランド	伊井さつき (津島)	
軟式野球	丸山公園野球場	高山 佳代 (松野)	宇和島市住吉町宇和島徳洲会病院 (22-2811)
	吉田公園野球場	加洲由花留 (城北)	
サッカー	丸山公園多目的グラウンド	松田 貴子 (城東)	宇和島市吉田町溜尾整形外科病院 (52-3133)
柔道	宇和島市総合体育館	細田 英樹 (医師)	
剣道	三間町国民体育館	芝 久美 (日吉)	宇和島市三間町松崎クリニック (58-4828)
体操競技	宇和島市総合体育館	加洲由花留 (城北)	
テニス	三間町運動公園	尾上 千恵 (三間)	宇和島市津島町市立津島病院 (32-2011)
相撲	愛媛県立津島高等学校	岡田 久美 (城南)	
陸上競技	丸山公園陸上競技場	岡田 久美 (城南)	北宇和郡鬼北町町立北宇和病院 (45-1221)
水泳競技	宇和島市立三間中学校	尾上 千恵 (三間)	

※ 救護員は、大会2日目も同じ会場を担当する。

バレーボール

- 競技責任者 山 宮 齋 (城 東)
- 会場責任者 宮 崎 つる乃 (吉 田)
- 審 判 長 木 口 富 惣 (広 見)
- 審 判 員

山 下 音 幸 (城 東)	富 永 尚 之 (城 南)	菊 岡 聡次朗 (城 北)
宮 崎 つる乃 (吉 田)	都 能 伸太郎 (津 島)	加 藤 達 也 (松 野)
安 気 智 洋 (宇 南)	村 上 嘉 生 (松 野)	得 能 光 司 (愛 宕)
加 藤 真 二 (明 浜)	田 村 耕一郎 (宇 和)	友 勝 彦 (日 吉)
赤 松 敏 章 (北宇高)	山 口 貴 史 (宇 南)	堀 切 元 生 (吉田高)
加 洲 成 人 (宇東高)		

- 競技方法 男子は決勝のみ、女子は予選ゾーンリーグ後、決勝トーナメントとする。
- 競技規定

1 2018年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項に準ずる。

※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレイスメント」ルールで行う。

(取り扱いの詳細は県中体連ホームページに掲載する。)

2 ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督・コーチ・マネージャー各1名とする。監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。コーチは、当該校の校長が認めた者とする。マネージャーは、生徒に限る。

なお、コーチが外部指導者(コーチ)の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者(コーチ)証を付けること。

3 監督・コーチ・マネージャーは、必ず規定のマークを左胸部に付けること。

4 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。(短パン、ランニングは不可)

5 試合設定時刻は、プロトコール開始時刻とする。

6 決勝トーナメントは試合時間を設定する。予定開始時刻を過ぎた場合は、試合終了5分後、決勝戦は準決勝終了後20分後にプロトコールを開始する。

7 ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

8 ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールを使用する。(男:ミカサ、女:モルテン)

9 公式練習は、毎試合ごとに行う。

10 登録選手の変更については、当該チームの第1試合プロトコール開始までに各会場の本部に連絡すること。

11 給水のためのタイムアウトを採用する。

組合せ

バレーボール男子 決勝 (Bコート)

城東 () 松野

バレーボール女子 (A・Cコート)

Aゾーン

	宇南	広見	津島	城南	勝	負	順位
宇南		()	()	()			
広見	()		()	()			
津島	()	()		()			
城南	()	()	()				

Bゾーン

	吉田	城北	城東	松野	勝	負	順位
吉田		()	()	()			
城北	()		()	()			
城東	()	()		()			
松野	()	()	()				

1日目試合順 (競技開始9:30)

	Aコート	Bコート	Cコート
①	宇南 - 広見	城東 - 松野 (男子決勝)	吉田 - 城北
②	津島 - 城南	-	城東 - 松野
③	宇南 - 津島	-	吉田 - 城東
④	広見 - 城南	-	城北 - 松野
⑤	宇南 - 城南	-	吉田 - 松野
⑥	広見 - 津島	-	城北 - 城東

決勝トーナメント (大会2日目・Aコート)

準決勝

A 1位	()	B 2位
B 1位	()	A 2位

決勝

①勝者	()	②勝者
-----	-----	-----

2日目試合順

	Aコート	開始時刻
①	A 1位 - B 2位	9:20
②	B 1位 - A 2位	10:20
③	①の勝者 - ②の勝者	12:20

バスケットボール

- 競技責任者 西田 裕 充 (津 島)
- 会場責任者 二神 信次郎 (城 北)
- 審判長 三瀬 修平 (宇 南)
- 審判員

清 家 規 晶 (南バ協)	森 井 夕 季 絵 (南バ協)	毛 利 和 麻 (城 東)
宇 田 浩 二 (南バ協)	金 谷 純 代 (南バ協)	青 野 善 和 (南バ協)
西 田 卓 史 (南バ協)	佐 竹 克 哉 (南バ協)	松 本 崇 宏 (南バ協)
梅 田 望 (南バ協)	渡 邊 孝 平 (南バ協)	

- 運 営 員

堀 上 元 貴 (城 南)	山 下 真 人 (城 北)	木 下 恵 理 (城 南)
山 田 央 (宇 南)	揚 野 豪 恭 (城 東)	中 井 孝 一 (三 間)
岡 本 由 紀 (三 間)	工 藤 峻 (吉 田)	八 十 島 洋 平 (広 見)
河 内 清 志 (松 野)	泉 野 武 憲 (宇 南)	

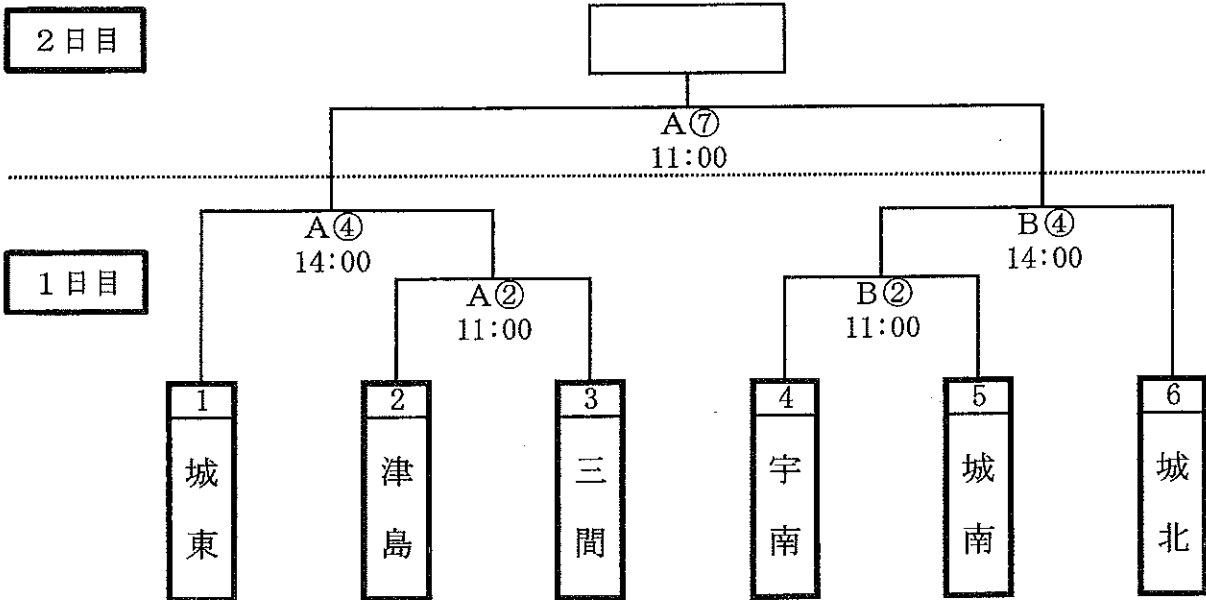
- 競技方法 男子、女子ともにトーナメント戦とする。
2日目は、男女の決勝のみとする。

- 競技規定

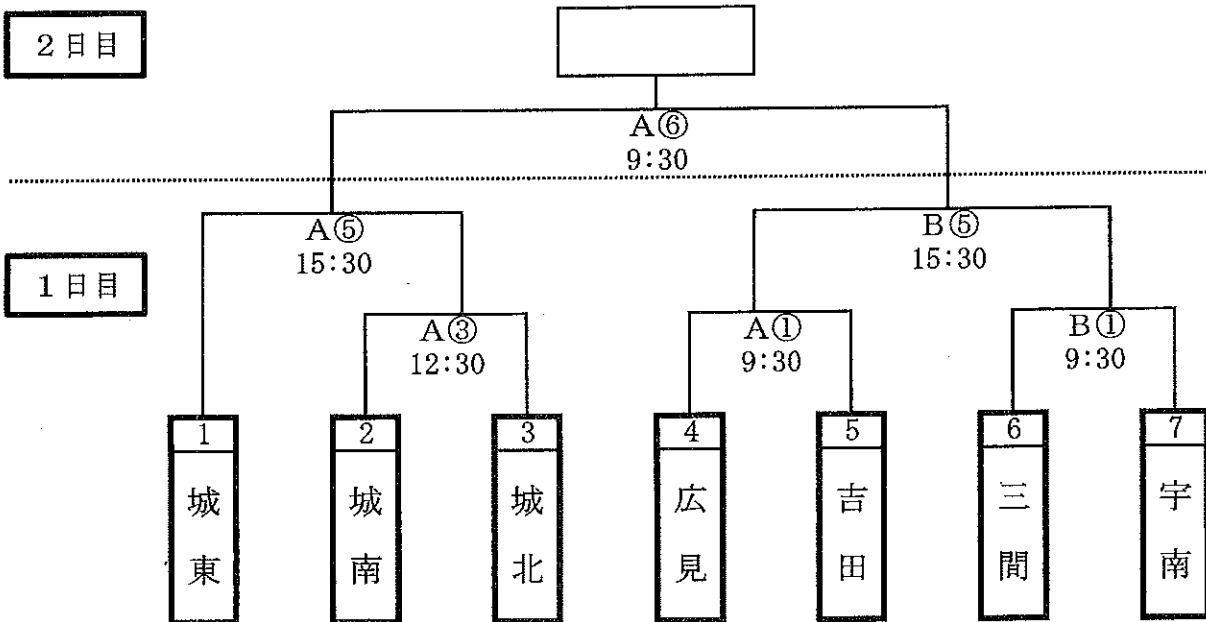
1. 2017～(公財)日本バスケットボール協会規則による。
ただし、ユニフォームの規定は採用しない。
2. 試合球は(公財)日本バスケットボール協会検定球、男子は7号・女子は6号皮革製とする。
3. ベンチは、組み合わせ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。
4. ユニフォームの色は組み合わせ番号の小さい方が白色とする。
5. メンバー表はゲーム開始10分前までにオフィシャル席と相手チームに提出する。
6. アンダーガーマントを着用する場合はユニフォームからはみ出さないものとする。
7. ベンチに入る者は登録された選手15名と監督・コーチ・マネージャー各1名とする。監督は出場校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員とし、コーチは校長の認めた者とする。また、マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。ただし、教員以外の指導者の場合は、試合中証明書を確認できるようにしておく。
8. コーチ、アシスタントコーチは、試合中チームベンチエリア内で両者同時に立ち続けることは認められない。
9. ゾーンディフェンスは認めない。

組み合わせ

【 男子 】



【 女子 】



卓 球

- 競技責任者 前 田 哲 伸 (津 島)
- 会場責任者 脇 坂 祐 輔 (広 見)
- 審 判 長 揚 野 豪 恭 (城 東)
- 審 判 員 利 根 建 樹 (内 海)
- 運 営 員 片 岡 敦 子 (宇 南) 小 池 長 八 郎 (宇 南)

○ 参 加 規 定

1. 団体戦 同一校の選手6～8名以内、監督1名をもって編成登録する。なお、監督の他にコーチとして、出場校の教職員（部活動指導員含む）もしくは校長の承認を得た外部指導者（コーチ）どちらか1名のベンチ入りを認める。
2. 個人戦 シングルスとダブルスは、兼ねることができない。なお、アドバイザーとして、1名のベンチ入りを認める。ただし、監督または、当該校の教職員（部活動指導員含む）、校長の承認を得た外部指導者、生徒のいずれかとする。

○ 競 技 方 法

1. 男女とも、団体戦は予選リーグ、決勝リーグ戦、個人戦はトーナメント戦とする。
2. 1日目に団体戦を行い、2日目に個人戦を行う。

○ 競 技 規 定

1. 現行の（公財）日本卓球協会ルールを適用する。（全ての試合で、タイムアウト・促進ルールを適用する。）
2. ユニフォームの背部に右のゼッケンをつける。（同姓の場合は名を一字だけ加える。）
3. オーダー用紙は、予選リーグは右側に自校のオーダーを記入し、対戦校同士で交換をする。決勝リーグについては、試合ごとに事前に1部を提出する。

前 田	…12cm
津 島 中	… 6cm
25cm	
4. 大会使用球は、（公財）日本卓球協会公認ホワイト球（プラスチック）とする。（TSP SL-PREMIUM40⁺、TSP CP40⁺、Nittaku、BUTTERFLY(A40⁺)）（40mm）

- (注)
- ① サービスは16cm以上投げ上げること。
 - ② 試合中、汗をふくのは6本ごとのサービス交代時のみとする。
 - ③ ゼッケンは、日本卓球協会のものも認める。
 - ④ ツブ高ラバー及びラバーの接着等を含め、審判長の判断でラケット交換を要求することができる。
 - ⑤ ペンホルダーのラケットは、表裏を赤黒の異色にする。

組合せ

卓球 団体 (男子)

予選

Aゾーン		津島	城東	宇南	城北	勝敗	順位
1	津島						
2	城東						
3	宇南						
4	城北						
A 1	津島	—	城東	A 2	宇南	—	城北
A 3	津島	—	宇南	A 4	城東	—	城北
A 5	津島	—	城北	A 6	城東	—	宇南

Bゾーン		広見	三間	城南	吉田	勝敗	順位
1	広見						
2	三間						
3	城南						
4	吉田						
B 1	広見	—	三間	B 2	城南	—	吉田
B 3	広見	—	城南	B 4	三間	—	吉田
B 5	広見	—	吉田	B 6	三間	—	城南

決勝リーグ

						勝敗	順位
1							
2							
3							
4							
1		—		2		—	
3		—		4		—	

卓球 団体 (女子)

予選

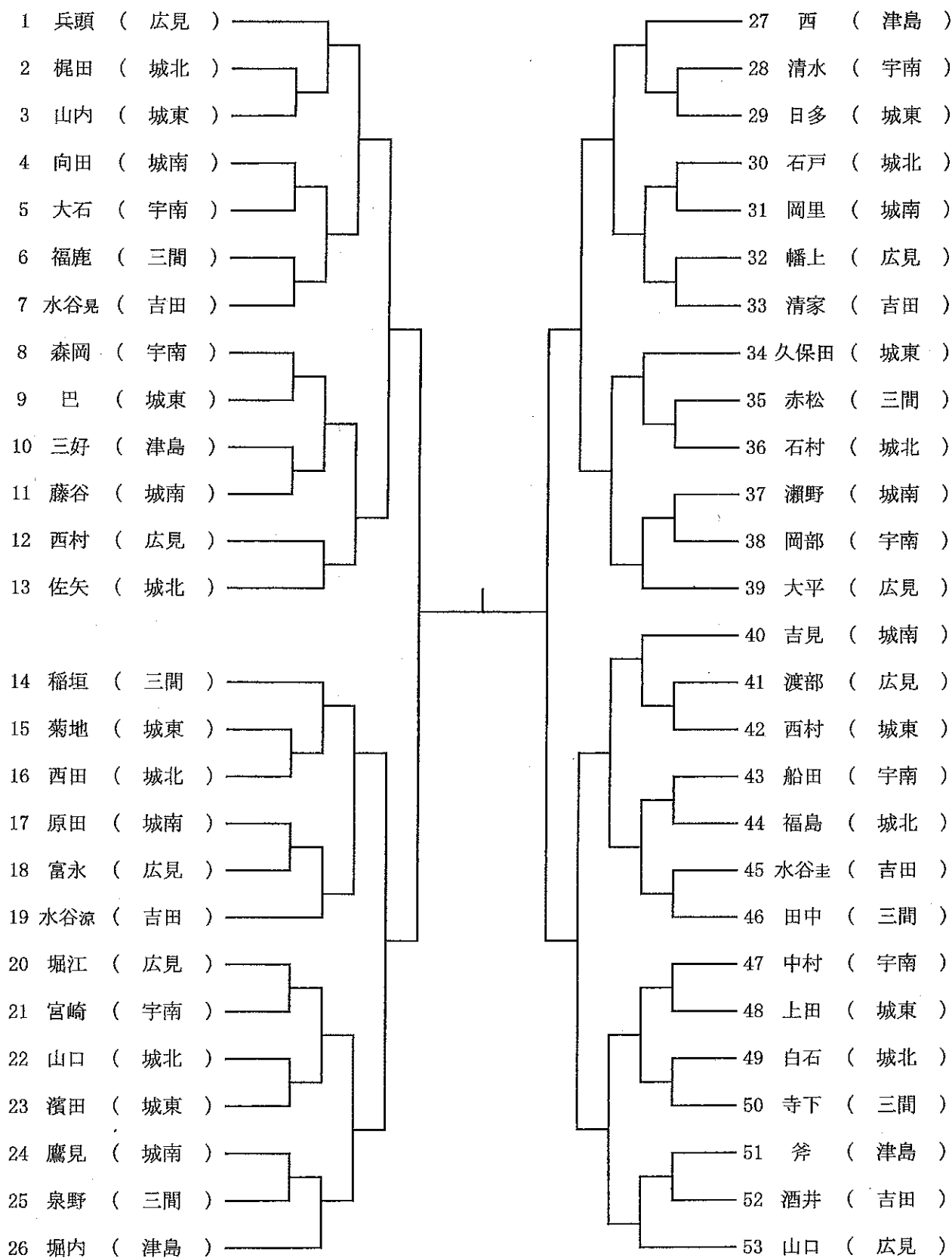
Aゾーン		城北	城南	城東	宇南	勝敗	順位
1	城北						
2	城南						
3	城東						
4	宇南						
A 1	城北	—	城南	A 2	城東	—	宇南
A 3	城北	—	城東	A 4	城南	—	宇南
A 5	城北	—	宇南	A 6	城南	—	城東

Bゾーン		三間	吉田	津島	広見	勝敗	順位
1	三間						
2	吉田						
3	津島						
4	広見						
B 1	三間	—	吉田	B 2	津島	—	広見
B 3	三間	—	津島	B 4	吉田	—	広見
B 5	三間	—	広見	B 6	吉田	—	津島

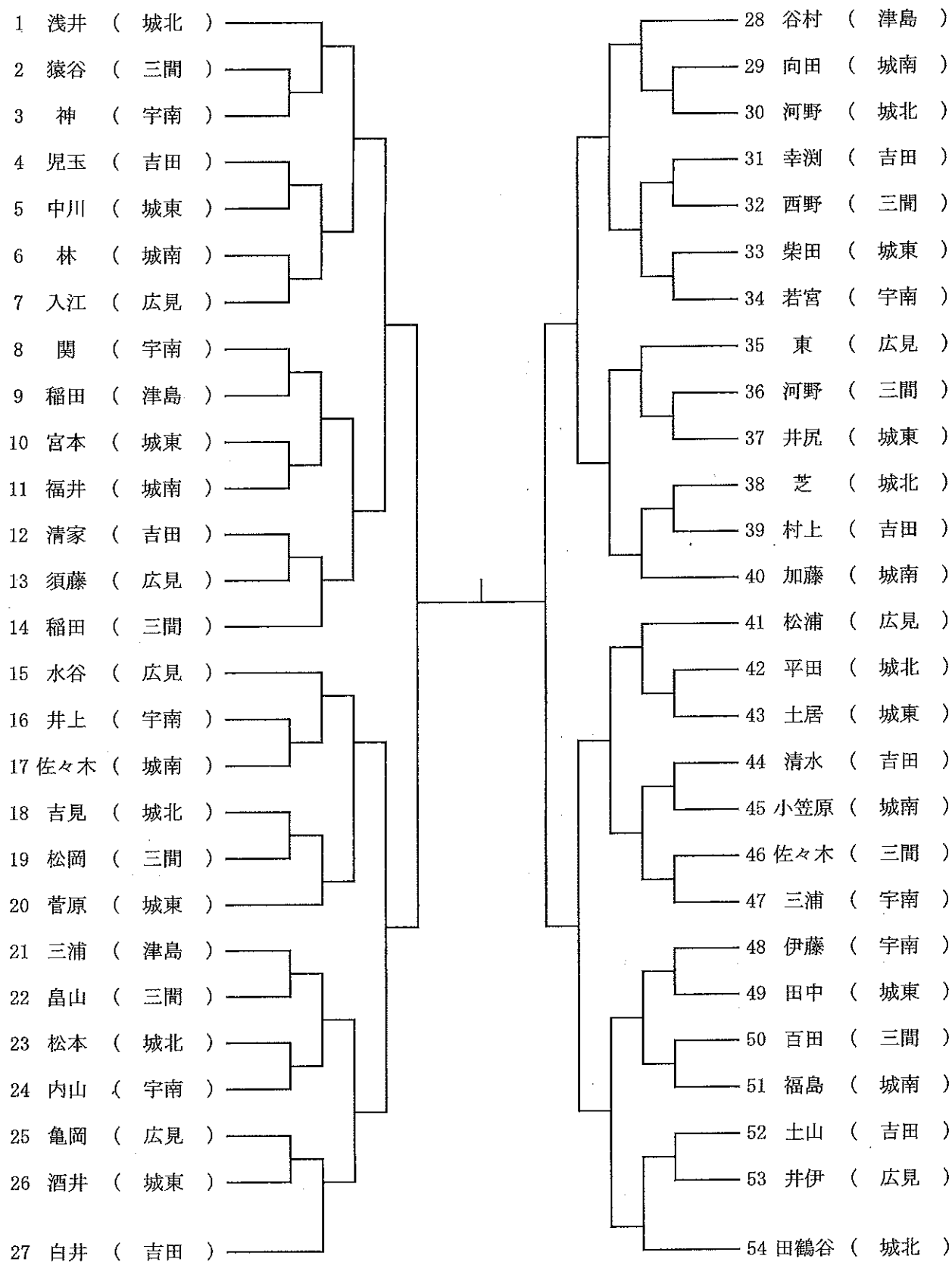
決勝リーグ

						勝敗	順位
1							
2							
3							
4							
1		—		2		—	
3		—		4		—	

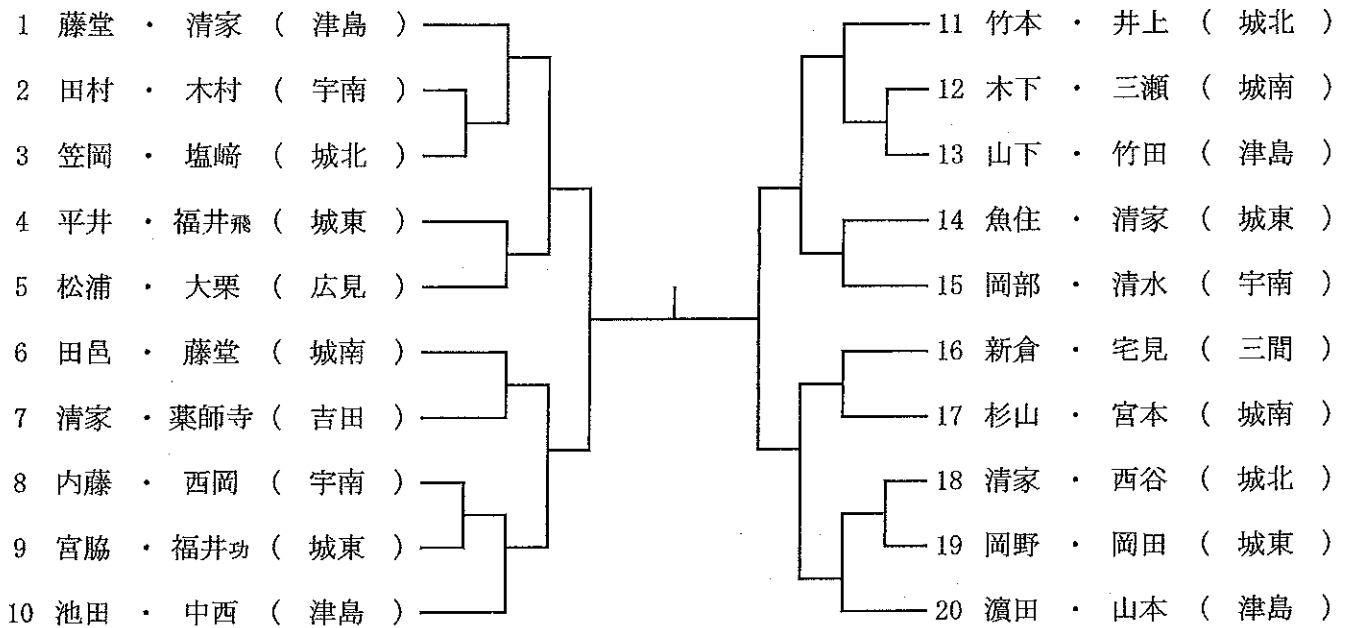
卓球 個人戦 シングル (男子)



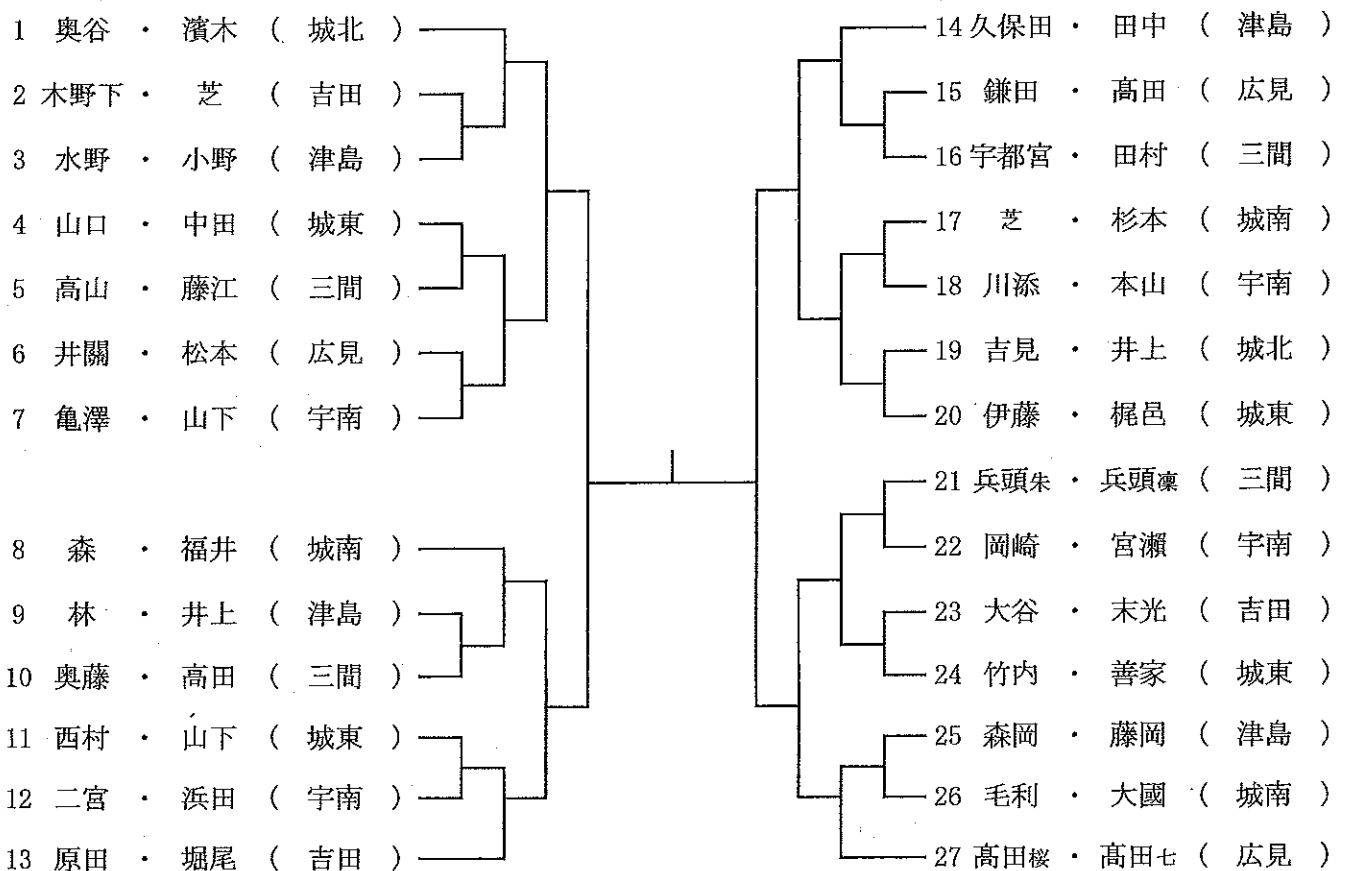
卓球 個人戦 シングル (女子)



卓球 個人戦 ダブルス (男子)



卓球 個人戦 ダブルス (女子)



ソフトテニス

○ 競技責任者 中村 慎吾 (城北)

○ 会場責任者 垣内 智善 (津島)

○ 審判長 徳田 英樹 (日吉)

○ 審判員

市橋 明子 (津島) 柿本 弘樹 (城東) 木村 貴幸 (城南)

松本 裕子 (城北) 濱田 町子 (宇和島南) 岩崎 朋子 (宇和島南)

小島 啓明 (広見) 岡田 幸俊 (広見) 中村 志帆 (日吉)

清水 孝弘 (松野) 福岡 拓矢 (吉田) 清水 充智 (城南)

土居 哲男 (城東)

○ 参加規定

1. 団体戦は、同一校の選手4名以上8名以内と監督又はコーチ1名で構成する。

2. 個人戦は、同一校の選手2名と監督又はコーチ1名で構成する。

○ 競技方法

1. 団体戦、個人戦ともにトーナメント方式とし、試合は7ゲームマッチとする。

2. 団体戦において、4名(2ペア)で出場する場合は、第1、2対戦に出場し第3対戦を不戦敗とする。

3. 団体戦を1日目に、個人戦を2日目に実施する。

○ 競技規定

1. 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。

2. 使用球はアカエム公認球(白色)とする。

3. ユニフォームは、上は襟付半袖のスポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装(用具を含めて)の色等は華美(蛍光色など)にならないようにする。上記の服装から外へ出るハイネック等のアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。シャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームは文言や記号を後から記入もしくは印刷し使用してはいけない。

4. 監督・選手ともテニスシューズを着用する。

5. ソックスの長さについては、くるぶしより上で、ハイソックスは認めない。

6. ハチマキ、帽子、サンバイザーには、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

7. 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央に付けること。ただし、4隅を止めることとする。すでにプリントされている文字は隠すように止めつけるものとする。

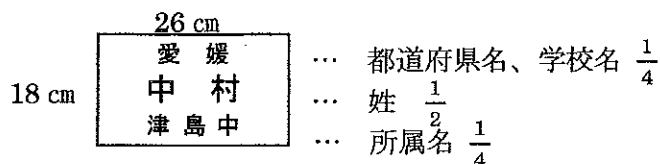
(1) ゼッケンは、B5判横(白地)の大きさの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字は付けないものとする。中学校は「中」と表記する。

(2) ゼッケンの文字は、「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字の色は「黒」とす

る。シャツそのものへのプリントは認めない。

- (3) 都道府県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。
- (4) ゼッケンの文字の位置は下図どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。
- (5) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

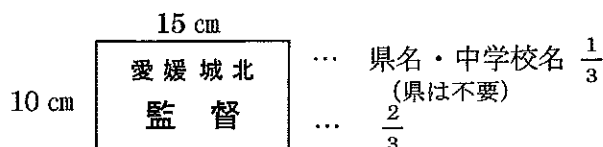
[選手のゼッケン]



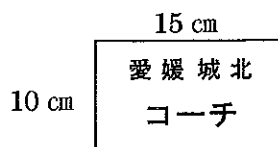
○ 競技上の注意事項

1. オーダーは試合ごとに2部作成し、1部を試合後に本部に提出する。
2. 個人戦の場合も監督・コーチ（教員・部活動指導員・外部指導者）はベンチに入ってもよい。個人戦は、出場ペア数まで監督・コーチをおくことができる。コーチ（教員・外部指導者）は、申込書に必ず明記しておくこと。
3. 監督・コーチは、襟付きのスポーツウェア、テニスシューズを着用のこと。また、監督・コーチは左胸にゼッケンをつけること。（文字、生地の色は特に指定しない。）外部指導者は中体連が定める外部指導者証も所持すること。
4. ベンチ外からのコーチは禁止する。（イエローカードの提示の対象とする。）
5. 外部指導者（コーチ）がベンチに入る場合は、監督は必ずコート周辺に待機すること。

[監督のゼッケン]

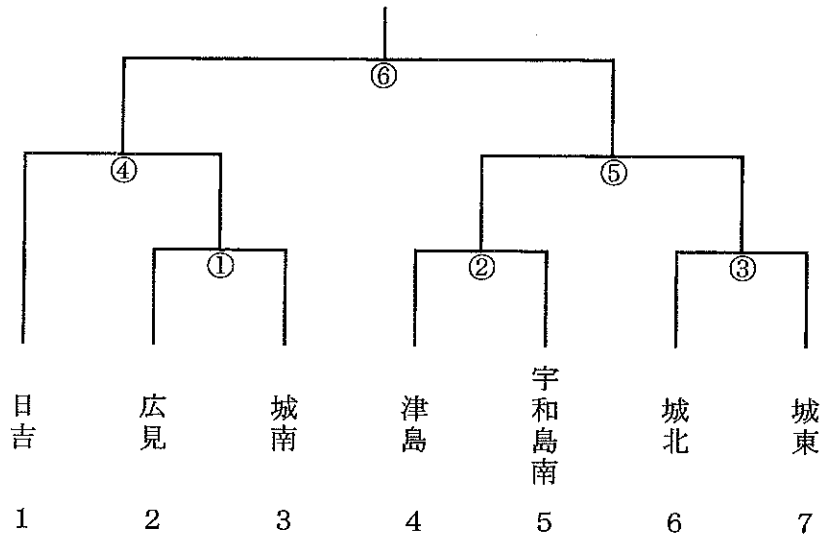


[コーチのゼッケン]

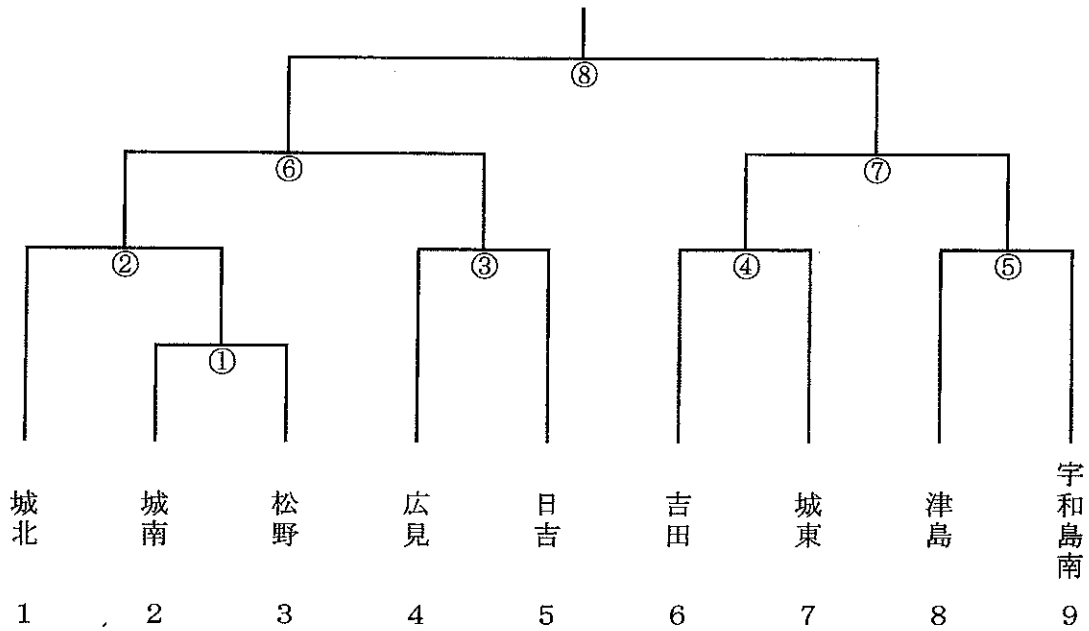


組合せ

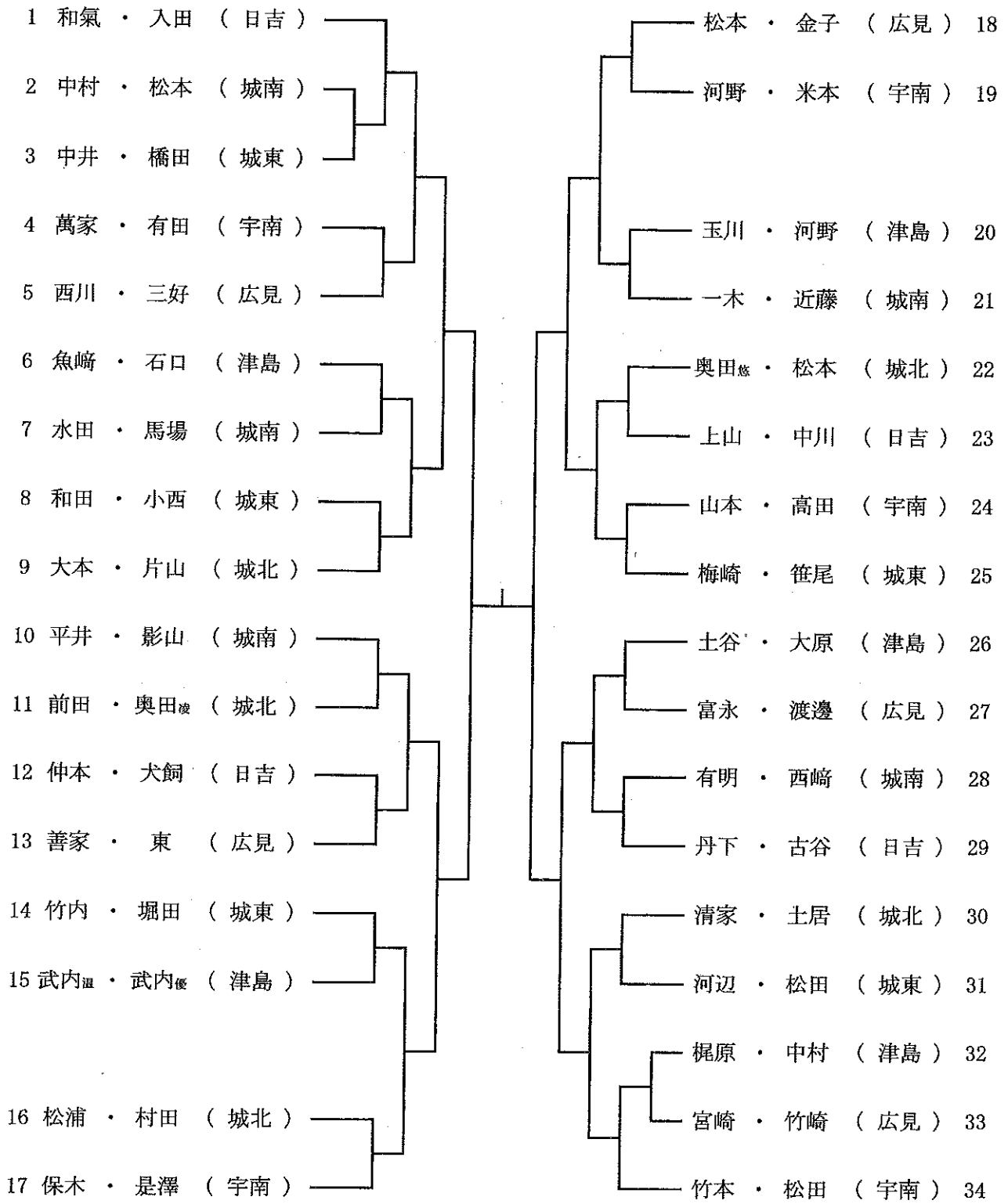
ソフトテニス 団体 (男子)



ソフトテニス 団体 (女子)



ソフトテニス 個人 (男子)



3位決定戦

()

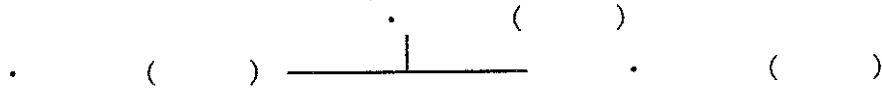
()

()

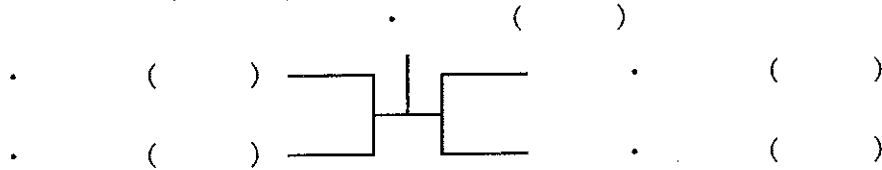
ソフトテニス 個人 (女子)

1	坂本 _三 ・白江	(日吉)				久保・下田	(城東)	22
2	元藪・濱崎	(城南)				竹本 _藤 ・松田	(広見)	23
3	竹内・田中	(城東)				松井 _雪 ・青木	(吉田)	24
4	中田・亀井	(津島)				藤原・船岡	(宇南)	25
5	小川・新恵	(広見)				山本・兵頭	(城南)	26
6	久保田・塩崎	(城南)				松下・藤田	(城北)	27
7	大野・谷口	(城北)				山口・藤山	(津島)	28
8	一森・吉見	(宇南)						
9	内藤・本田	(吉田)				竹内・西田	(松野)	29
10	尾崎・井上 _美	(松野)				坂本 _明 ・富永	(日吉)	30
11	尾崎・別府	(城東)				松浦・村尾	(広見)	31
12	赤松・河野 _良	(津島)				濱田・稲澤	(宇南)	32
13	島本・奥平	(城南)				坂本・井上 _涼	(松野)	33
14	松村・若藤	(城北)				高田・高瀬	(広見)	34
15	和家・黒田	(宇南)				畠山・松本	(城南)	35
16	西田・竹本 _彩	(広見)				西崎・澤井	(吉田)	36
17	杉垣・赤樫	(城東)				中越・廣瀬	(津島)	37
18	松井 _桃 ・田中	(吉田)				橡木・濱田	(城東)	38
19	岡中・牧野	(宇南)				有請・兵頭	(城北)	39
20	武田・河野 _音	(津島)				関本・綱崎	(松野)	40
21	高橋・岡田	(松野)				今城・川平	(日吉)	41

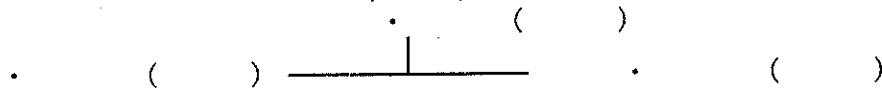
3位決定戦



5位から8位までの順位決定トーナメント



7位決定戦



軟 式 野 球

- 競技責任者 山口 功一 (城南)
- 会場責任者 (丸山公園野球場) 山西 秀樹 (城東)
(吉田公園野球場) 安川 航平 (広見)
- 審判長 古谷 成 (宇南)
- 審判員
渡辺 卓一 (宇軟野連) 若藤 重喜 (宇軟野連) 酒井 文男 (宇軟野連)
本山 順一 (宇軟野連) 松崎 陽介 (宇軟野連) 清家 康太 (宇軟野連)
浅川 幸治 (宇軟野連) 山村 司 (宇軟野連) 二神 崇雄 (宇軟野連)
渡邊 卓 (城北)
- 運営員
水野 俊英 (城北) 大西 祥太 (城北) 藤堂 将伍 (吉田)
水野 文隆 (吉田) 井上 雅文 (三間) 小島 啓法 (三間)
吉川 晋 (津島) 梅林 怜史 (宇南) 酒井 博司 (松野)

○ 競技方法

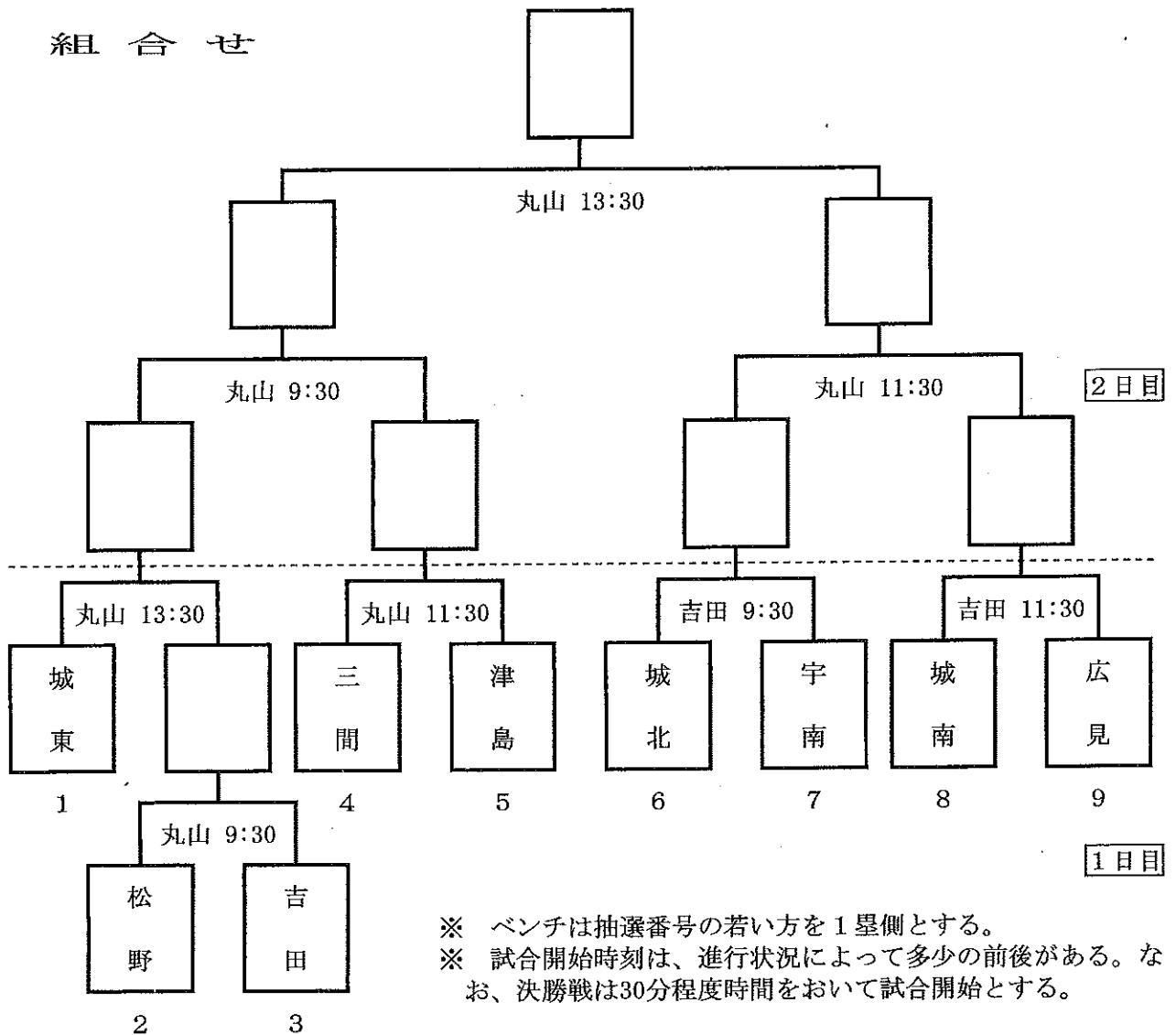
1. 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
2. 5回以降7点差でコールドゲームを適用する (決勝戦は適用しない)。
3. 延長戦は9回までとし、それでも勝敗が決しない場合は特別延長戦を行う。

○ 競技規定

1. 当該年度公認規則及び大会特別規程による。投手のインニング制限は適用しない。
2. 1チームの編成は、監督 (引率責任者) 1名、選手18名以内 (スコアラーを含む) とする。
また、この他に教員を2名追加することができる。監督は出場校の教員・部活動指導員とする。
外部指導者 (コーチ) が入る場合は1名とし、出場校の校長が認めコーチ証を所持した者とする。
3. ユニフォーム、アンダーシャツは同一のものを使用し (一番上から11cmの位置に) 背番号を付ける (背番号は、選手は1から18番、監督は30番、コーチは29、28番とする)。監督・外部指導者 (コーチ) は、原則として選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。サングラスは使用しない。引率教員は平服でも良いが、平服の場合はグラウンドには入れない。
4. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を4部持って、打ち合わせをする。
5. シートノックは、後攻側より始め、通告時より7分以内とする (運営上、短縮・省略することもある)。また、試合前の練習及びノックは登録選手以外に3名の補助員をつけることができる。マウンドでの投球練習は認めない。ノッカーは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。相手チームのシートノック中は、ベンチから出ない。終了2分前からベンチ前での準備は認める。
6. 試合成立は5回とし、暗黒・降雨によるコールドゲームは適用する。暗黒・降雨などで試合が5回以前に中止となった場合、5回以降同点で中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。ただし、決勝戦は再試合とする。
7. 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、所定の位置につく。投手またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置く。
8. 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。次打者も投手の投球が始まったら素振りをしてはいけない。
9. 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは、試合前のノック時以外は、ベンチから出ない。
10. メガホンの使用は、監督のみとする。
11. 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問できる。
12. 危険防止のため次のことを徹底する。
 - ① バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。

- ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実に妨害になった場合は走者をアウトとする。
 - ③ 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと（捕手・予備捕手は安全のためマスクをかぶる）、打者と走者及びシートノック時にノッカーにボールを渡す選手の両耳付きヘルメットは必ず着用する。ベースコーチとバットボーイは危険防止のためにヘルメットを着用する。また、リストバンド及びハイカットストッキング、ユニフォームのロングズボン禁止する。
 - ④ 捕手は、ボールを持たないでベースパスの範囲に足を置くことができない。ボールを捕球する動きの中でベースパス内に足を踏み入れることは違反ではない。
 - ⑤ 捕手がボールを保持しベースパス内で膝をつく姿勢は、走者の走路を妨害したとしてオブストラクションが宣告される。ただし、送球がショートバウンドとなり膝をついた状態で捕球し、そのままタッグプレーとなった場合は、捕球する中の動きであり違反ではない。
13. 投手を含む野手3人以上が、一試合に投手の所に集まれる回数を3度以内とする。なお、延長戦は2回に一度行くことができる。監督が、同一回に同一投手のところへ二度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手を交代しなければならない。
 14. 応援団は、紙吹雪・テープ・個人名を書いたのぼり等の応援禁止する。また、相手チームに不利を招くような応援（やじ等）やゲームを妨害するような応援をしない。
 15. 選手の頭髪や身なりは中学生らしくあること。試合中・前後でのマナーを十分に考慮する。
 16. 選手のテーピングは肌色に近いものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。
 17. 本塁打を打った打者に握手等を求めるために、グラウンドには出てはいけない。
 18. ベースコーチは、打者が打つまでは、打者より一番遠い枠内の位置にいる。

組 合 せ



サ ッ カ ー

- 競技責任者 松本賢吾(城南)
- 会場責任者 清家稔(城東)
- 審判長 加賀山和宏(広見)
- 審判員
 - 松本賢吾(城南) 脇本健太郎(城北) 清家稔(城東)
 - 田中裕之(宇南) 松浦一晴(宇南) 窪内秀世(津島)
 - 城岡真実(吉田) 浄光英紀(協会) 八板謙(協会)
 - 青木広樹(協会) 越智修二(協会) 谷本一真(協会)
 - 薬師寺照之(協会) 窪地育哉(協会) 赤松弘教(協会)
 - 藤田充基(協会) 大塚隆三(協会)

○ 競技方法

1. トーナメント方式とする。
2. 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。なお、1回戦において勝敗が決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。準決勝・決勝において勝敗が決しない時は、最大10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施し、なお決しないときには再度、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施する。それでもなお決しないときにはPK方式により勝敗を決定する。
3. 天候によっては、飲水タイムもしくはクーリング・ブレイクを設けることがある。ただしその決定は、監督会議で行うものとする。

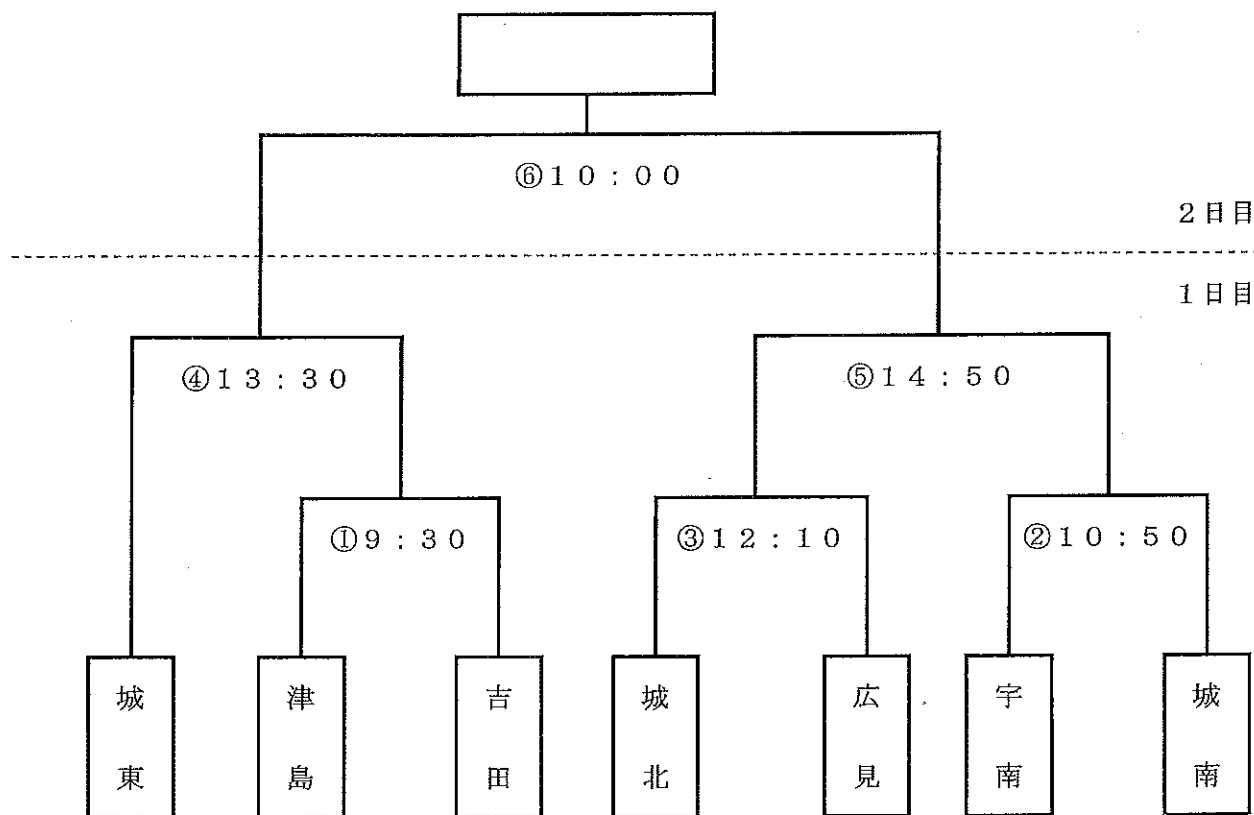
○ 競技規定

1. (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則2017/2018」による。
2. 選手登録は18名以内とし、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、1度退いた競技者は再び出場することができない。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
3. 試合球は、公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
4. 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、違反行為の内容によっては競技責任者、審判長、審判員でそれ以降の措置について決定する。
5. 本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
6. 各チームは監督1名、選手18名に加え、引率者1名、コーチ1名(すべて監督が兼ねることができる)、校長のうち2名までがベンチ入りすることができる。

○ 注意事項

1. ユニフォームは登録されたものを使用すること。背番号は1番から99番までとする。必ず正・副(上衣、パンツ、ストッキング)2着を用意すること。
2. 審判員と同一または類似色のみのユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
3. 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については大会本部もしくは大会役員で決定する。

組 合 せ



柔 道

- 競技責任者 梶 谷 啓 介 (城 北)
- 会場責任者 梶 谷 啓 介 (城 北)
- 審判長 梶 谷 宗 範 (津 島)
- 審判員
- 毛利 武 志 (明倫小) 田 村 元 嗣 (吉田高) 山 下 孝 文 (宇和島東高)
- 中 村 幸 雄 (宇鶴警署) 稲 田 哲 也 (八西柔) 梶 田 浩 (鬼城柔)
- 上 甲 清 幸 (鬼城柔) 河 辺 泰 司 (鬼城柔) 梶 原 純 (吉田柔)
- 毛利 泰 三 (三間柔) 岩 見 晃 (宇鶴警署)
- 田 村 康 雄 (津島柔) 福 島 亮 (津島柔) 柏 田 訓 (津島柔)
- 信 崎 恵 一 (松野柔)
- 救護員 細 田 英 樹 (医 師)
- 運営員
- ・ 受付 芝 田 寿 仁 (三 間)
- ・ 体重測定 男 子 梶 谷 宗 範 (津 島) 河 野 順 子 (吉 田)
- 女 子 毛 利 武 志 (明倫小) 村 上 恵 (広 見)
- ・ 本部記録 芝 田 寿 仁 (三 間) 竹 葉 弘 一 (松 野)
- ・ 表彰 村 上 恵 (広 見) 河 野 順 子 (吉 田)
- ・ 試合場係 第1試合場 芝 田 寿 仁 (三 間) 石 川 将 文 (鬼城柔)
- 第2試合場 竹 葉 弘 一 (松 野) 溝 脇 未 来 (吉田柔)

○ 競技方法

1. 団体戦

- (1) 男女ともリーグ方式とする。
- (2) 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- (3) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- (6) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」

- (7) チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、順位は次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - ② ①において同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ③ ②において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ④ ③において同等の場合は、負け数の合計による。
 - ⑤ ④において同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - ⑥ ⑤において同等の場合は、1名による代表戦を1回行う(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。
- (8) 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

2. 個人戦

- (1) 男女とも出場者が6名以内の階級はリーグ方式とし、7名以上の階級はトーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、「一本」、「技有」、又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
- (4) 両者反則負けの場合は、次の試合に進めない。

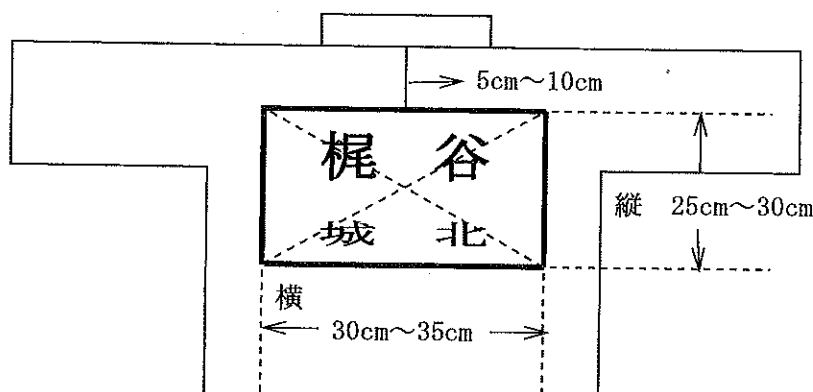
(5) 体重区分は次の通りとする。

① 男子	50kg級 (50kg以下)	55kg級 (50kg超～55kg以下)
	60kg級 (55kg超～60kg以下)	66kg級 (60kg超～66kg以下)
	73kg級 (66kg超～73kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
	90kg級 (81kg超～90kg以下)	90kg超級 (90kg超)
② 女子	40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
	48kg級 (44kg超～48kg以下)	52kg級 (48kg超～52kg以下)
	57kg級 (52kg超～57kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
	70kg級 (63kg超～70kg以下)	70kg超級 (70kg超)

○ 競技規定

1. 国際柔道連盟試合審判規定(2017年～2020年)及び同国内における「少年大会特別規定」による。
2. 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りも可とする。
3. (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
4. (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。
5. 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - (1) 布地は白(晒、太綾)とする。
 - (2) サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - (3) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - (4) 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - (5) 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - (6) 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

(例)



6. 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
7. 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
8. 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。
9. 体重に増減があった場合、失格とする。但し、女子はTシャツ・下ばきで1kgオーバーまで認める。
10. 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
11. 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお至急専門医の精査を受けること)。
 - (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

組合せ

柔道団体 (男子)

	1 松野	2 三間	3 城北	4 津島	勝	負	分	順位
1 松野								
2 三間								
3 城北								
4 津島								

① : 1 松野 - 2 三間

② : 3 城北 - 4 津島

③ : 1 松野 - 3 城北

④ : 2 三間 - 4 津島

⑤ : 1 松野 - 4 津島

⑥ : 2 三間 - 3 城北

柔道団体 (女子)

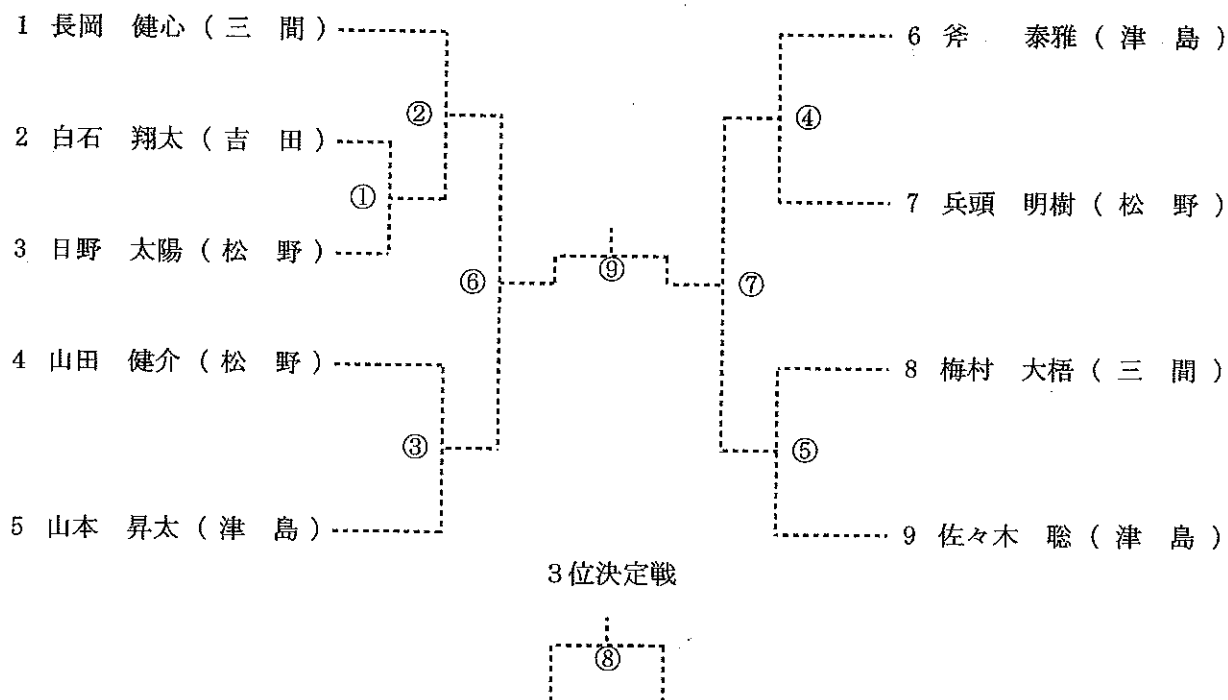
	1 城北	2 三間	3 津島	勝	負	分	順位
1 城北							
2 三間							
3 津島							

① : 1 城北 - 2 三間

② : 2 三間 - 3 津島

③ : 1 城北 - 3 津島

柔道個人 (男子)
男子50kg級



男子55kg級

	山本 蓮太	谷口 龍央	河野 太輔	高田 悠作	山口 青航	中川 輝大	勝	負	順位
1 山本 蓮太 (津島)									
2 谷口 龍央 (松野)									
3 河野 太輔 (城北)									
4 高田 悠作 (松野)									
5 山口 青航 (城北)									
6 中川 輝大 (城北)									

①: 1山本-2谷口

③: 5山口-6中川

⑤: 3河野-5山口

⑦: 1山本-6中川

⑨: 2谷口-3河野

⑪: 3河野-6中川

⑬: 1山本-3河野

⑮: 4高田-6中川

②: 3河野-4高田

④: 1山本-4高田

⑥: 2谷口-6中川

⑧: 4高田-5山口

⑩: 1山本-5山口

⑫: 2谷口-4高田

⑭: 2谷口-5山口

男子60kg級

	山本 英太	酒井 堅心	山下 大輝	梶谷 紘矢	藤山丈太郎	勝	負	順位
1 山本 英太 (津島)								
2 酒井 堅心 (吉田)								
3 山下 大輝 (津島)								
4 梶谷 紘矢 (城北)								
5 藤山丈太郎 (三間)								

①: 1山本-2酒井

②: 3山下-4梶谷

③: 1山本-5藤山

④: 2酒井-3山下

⑤: 4梶谷-5藤山

⑥: 1山本-3山下

⑦: 2酒井-4梶谷

⑧: 3山下-5藤山

⑨: 1山本-4梶谷

⑩: 2酒井-5藤山

男子66kg級

	岡本 悠治	毛利 一尽	細川 空人	勝	負	順位
1 岡本 悠治 (津島)						
2 毛利 一尽 (三間)						
3 細川 空人 (津島)						

①: 1岡本-2毛利

②: 2毛利-3細川

③: 1岡本-2細川

男子73kg級

1 中川 皇 (城北) ① 2 坂本 一登 (広見)

男子81kg級

1 熊坂 尉 (津島) ①

男子90kg級

1 和田 隼虎 (三間) ① 2 関本 太一 (松野)

柔道個人 (女子)
女子44kg級

	川本 美羽	久保田さくら	兵頭 愛莉	勝	負	順位
1 川本 美羽 (城北)						
2 久保田さくら (松野)						
3 兵頭 愛莉 (津島)						

①: 1川本-2久保田

②: 2久保田-3兵頭

③: 1川本-2兵頭

女子48kg級

	松本 涼	山下 明純	阿部 千夏	勝	負	順位
1 松本 涼 (三間)						
2 山下 明純 (城北)						
3 阿部 千夏 (津島)						

①: 1松本-2山下

②: 2山下-3阿部

③: 1松本-3阿部

女子52kg級

	赤松 桃花	西田 華音	梶谷 采未	勝	負	順位
1 赤松 桃花 (城北)						
2 西田 華音 (松野)						
3 梶谷 采未 (城北)						

①: 1赤松-2西田

②: 2西田-3梶谷

③: 1赤松-3梶谷

女子57kg級

	岩見志都紀	河野 優佳	前田 凜	勝	負	順位
1 岩見志都紀 (三間)						
2 河野 優佳 (三間)						
3 前田 凜 (三間)						

①: 1岩見-2河野

②: 2河野-3前田

③: 1岩見-3前田

女子63kg級

	岡本 侑花	梶原 愛海	藤山 小晴	勝	負	順位
1 岡本 侑花 (津島)						
2 梶原 愛海 (津島)						
3 藤山 小晴 (三間)						

①: 1岡本-2梶原

②: 2梶原-3藤山

③: 1岡本-3藤山

剣 道

- 競技責任者 松浦 貴史 (広 見)
- 会場責任者 山本 孝信 (三 間)
- 審 判 長 増田 智之 (城 南)
- 審 判 員 古谷 龍夫 (鬼北剣) 菊池 新八 (宇和島) 善家 慎介 (三間剣) 高山 健司 (三間剣)
高須賀和幸 (宇和島) 大瀧 康孝 (鬼北剣) 高田 賢三 (鬼北剣) 伊勢田 誠 (宇和島)
桐山 浩之 (学剣連) 木田 光俊 (宇和島) 明神 正勉 (三間剣) 渡邊 浩明 (三間剣)
山本 孝信 (三 間) 五島 卓也 (宇和島) 山崎 美和 (三間剣) 玉井 一隆 (宇和島)
山下 憂記 (宇和島) 戸田 大洋 (鬼北剣) 五島 啓太 (宇和島) 酒井 孝夫 (吉 田)
池田 公志 (学剣連)
- 運 営 員 橋本 和紀 (城 南) 友 勝彦 (日 吉) 松井 広幸 (日 吉)
清家 千芳 (城 北) 河野 明生 (城 東) 伊勢 千加 (宇 南)
- 救 護 員 芝 久美 (日 吉)
- 競技方法

団体戦は、男子はA・Bの2リーグに分けゾーンリーグ戦とし、Aリーグの1位とBリーグの2位、Bリーグの1位とAリーグの2位を組み合わせて決勝トーナメント戦を行う。女子は3チームでリーグ戦を行い、順位を決定する。

個人戦はトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。

○ 競技規定

1. 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び細則」、及び日本中体連剣道競技部申し合わせ事項によって行う。
2. 団体戦
 - (1) 3名以上で出場可。ただし、3名の場合は先鋒・中堅・大将の位置で行う。4名の場合は、先鋒・中堅・副将・大将の位置で行う。
 - (2) 3分間3本勝負とする。ただし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。トーナメント戦における決勝戦においては、勝敗が決しないときは2分間の延長戦を1回行う。延長戦で勝敗が決しないときは引き分けとする。ただし、団体戦の勝敗が決した後、延長戦は行わない。
 - (3) 団体戦の勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は、勝本数の多い方を勝ちとする。さらに、同数の場合は、リーグ戦（ゾーンリーグ戦）では、引き分けとし、決勝トーナメント戦では、代表戦を行う。代表戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
 - (4) リーグ戦（ゾーンリーグ戦）の順位決定は、得点による。同じ得点の場合は、勝者数・勝本数の順で行う。さらに同じ場合は代表戦を行う。代表戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
 - (5) 得点は、勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点とする。
 - (6) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。
 - (7) オーダーは申し込み後変更を認めない。
 - (8) 団体戦では、補員と交代した者は再び選手として出場できない。
3. 個人戦は、3分間3本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長を時間を区切らず、勝敗の決するまで行う。
4. 竹刀は男女とも114 cm以下とし、竹刀の先部の直径は、男子25 mm以上、女子24 mm以上でなければならない。また、先革の長さは50 mm以上とする。重さは、男子440 g以上、女子400 g以上とし、計測、計量を行う。アイガード・ポリカーボネート面及び化学繊維竹刀の使用は認める。竹刀のつるの色は、白・黄・紫のみとする。

5. つばの大きさは直径9cm以下とし、色は革色のもの（白色も可）を使用する。（絵付きのものは装着の状況による）
6. 突きおよび上段の構え、二刀は禁止する。
7. 服装は、剣道着および袴を着用し、たれの前に学校名「中」（横）、姓（縦）を黒または紺地に白文字で記入する。剣道着のそで口に学校名以外の名前の刺繍の入っている剣道着の着用は認めない。（関係のないワッペン等の着用も認めない。）
8. 面ひもの長さは結び目より40cm以内とする。
9. サポーター等（足袋・テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出た上で使用する。また、肘や膝などに付ける物を足に使用したり、ゴムや革及びすべり止めを底に貼った物の使用は禁止とする。指先単独のテーピングは届け出は不要。届け出と違う物を使用した者は、替えさせる。
10. 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
11. 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。（通常とは面金前部が銀色、面縁革の色が外側黒、内側朱のもの）
12. 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。

剣道 団体 (男子)

第1・2試合場

予選 第1試合場

Aリーグ		城南	三間	城北	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城南	/	—	—				
2	三間	—	/	—				
3	城北	—	—	/				

予選 第2試合場

Bリーグ		城東	宇南	広見	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城東	/	—	—				
2	宇南	—	/	—				
3	広見	—	—	/				

左が赤

第1試合場

1 : 城南 — 三間
 2 : 城南 — 城北
 3 : 三間 — 城北

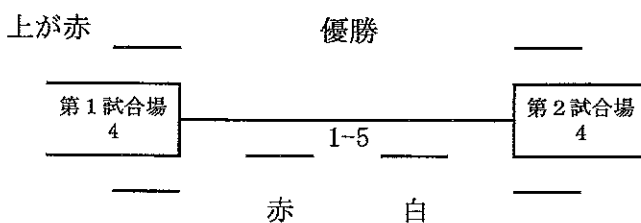
第2試合場

1 : 城東 — 宇南
 2 : 城東 — 広見
 3 : 宇南 — 広見

決勝トーナメント

Aリーグ1位

Bリーグ2位



Aリーグ2位

Bリーグ1位

1位	
2位	

決勝 第3試合場

		広見	日吉	三間	得点	勝者数	勝本数	順位
1	広見	—	—	—				
2	日吉	—	—	—				
3	三間	—	—	—				

左が赤

1 : 広見 — 日吉
 2 : 広見 — 三間
 3 : 日吉 — 三間

1位	
2位	

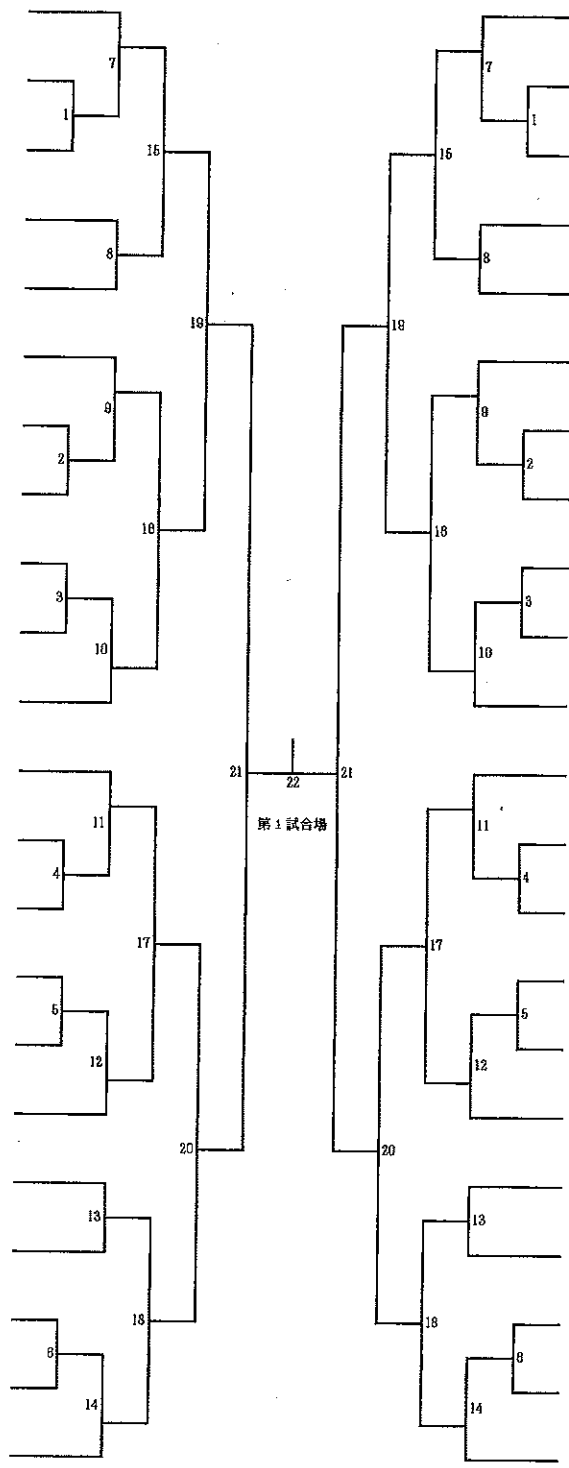
剣道 個人 (男子)

上が赤

第1試合場

第2試合場

- 1 井上 (広見)
- 2 中村 (宇南)
- 3 岩木瑠 (城南)
- 4 友澤 (三間)
- 5 井上黄 (城北)
- 6 山口 (日吉)
- 7 南條 (宇南)
- 8 渡邊 (三間)
- 9 上杉 (宇南)
- 10 中平 (城南)
- 11 伊勢田 (城東)
- 12 清水 (宇南)
- 13 井上 (三間)
- 14 本多 (城東)
- 15 古賀 (城南)
- 16 谷口 (広見)
- 17 水田 (城北)
- 18 中平 (広見)
- 19 岩木響 (城南)
- 20 今城 (城北)
- 21 岡崎陽 (三間)
- 22 山本 (宇南)

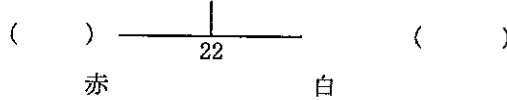


- 23 高田 (広見)
- 24 田中 (城東)
- 25 葉師神 (宇南)
- 26 岡崎 (城南)
- 27 井上聖 (城北)
- 28 山口 (宇南)
- 29 村田 (城南)
- 30 善家 (広見)
- 31 岡崎慎 (三間)
- 32 大島 (宇南)
- 33 清家 (吉田)
- 34 竹城 (宇南)
- 35 大久保 (日吉)
- 36 大瀧 (広見)
- 37 濱崎 (城南)
- 38 中平 (城東)
- 39 安岡 (三間)
- 40 西村 (城北)
- 41 高橋 (宇南)
- 42 阿藤 (三間)
- 43 岸本 (広見)
- 44 紙崎 (城南)

3位決定戦

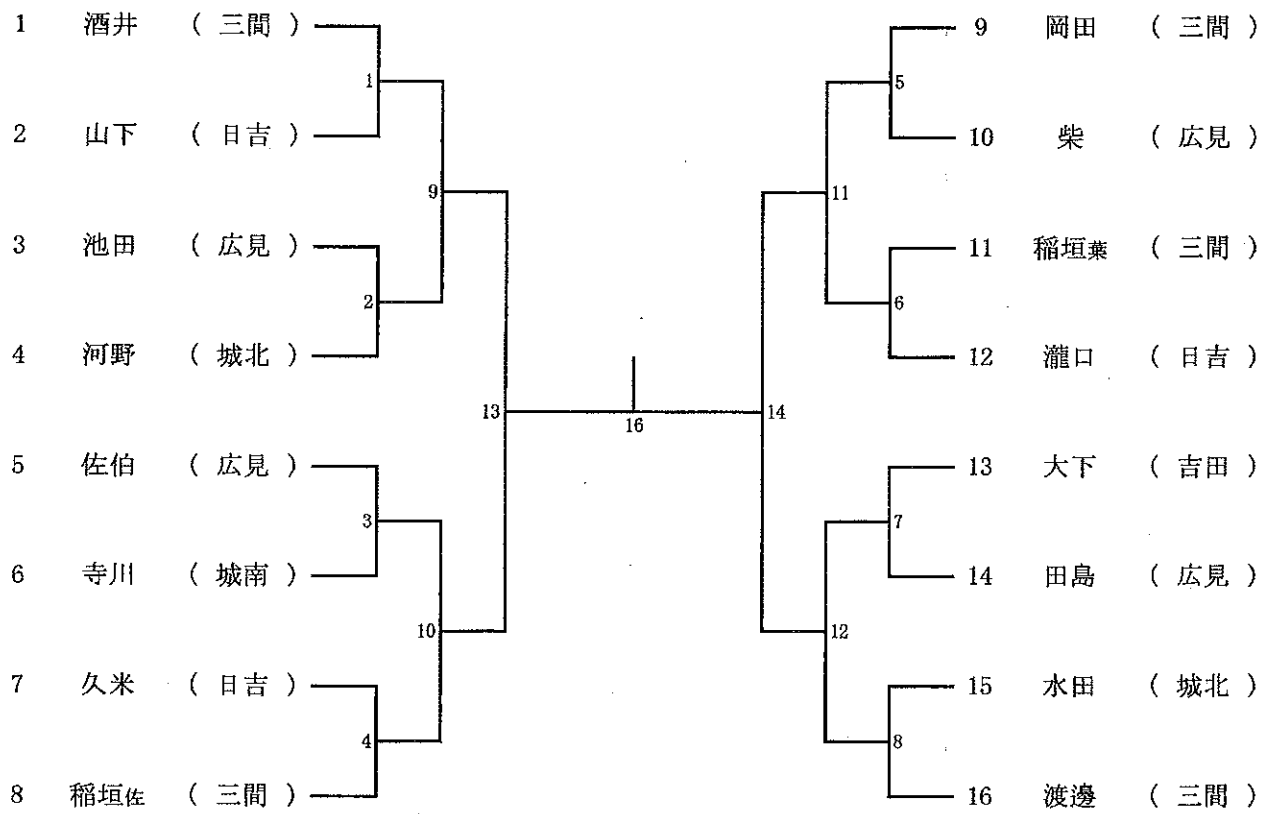
第2試合場

第1試合場
21の敗者

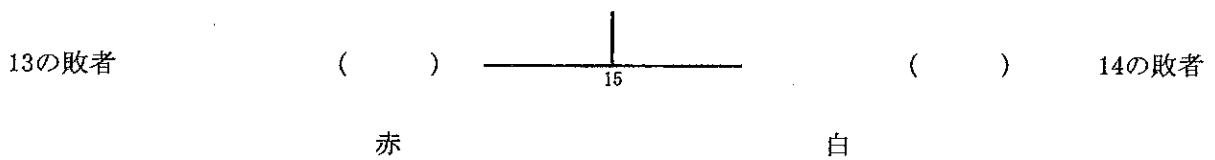


第2試合場
21の敗者

剣道 個人 (女子) 第3 試合場 上が赤



3位決定戦



体 操 競 技

- 競技責任者 木野下志麻(城北)
- 会場責任者 木野下志麻(城北)
- 審判長 木野下志麻(城北)
- 審判員 東海林 慎介(宇体協) 長山 愛(宇体協)
- 山口直子(宇体協) 山下厚順(宇体協)
- 運営員 和田和子(城北)

○ 競技方法

1. 男女とも、自由演技のみを実施する。
2. 1チームは3～4名で編成し、その他に補欠1名を認め、学校単位とする。また、団体の補欠と個人を兼ねることはできない。
3. 団体総合は、3種目(男子あん馬、女子段違い平行棒を除く)の演技とする。
4. 個人総合は、4種目の演技とする。

○ 競技規定

1. 男子は、日本体操協会制定2017年版男子採点規則・2018年中学校適用規則(U-15)を適用する。
2. 女子は、日本体操協会制定2017年版女子採点規則・変更規則I・女子体操競技情報最新版を適用する。

【女子 団体・個人】

校名	氏名	番号	跳馬		段違い平行棒		平均台		ゆか		計	個人総合順位	団体順位
			得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位			
城北	土居明日香	91											
	畠山葵衣	92											
	畠山留衣	93											
	岡本月乃	94											
	チーム内ベスト3			/									
城北	荘ももか	191											
	日高未来	192											
	宇田亜津佳	193											

テニス

- 競技責任者 有馬 伸貴 (三 間)
- 会場責任者 有馬 伸貴 (三 間)
- 審判長 坂本 忠司 (三 間)
- 審判員 清岡 幸一 (宇テ連) 赤松 拓也 (宇テ連) 井本 純生 (宇テ連)
- 運営員 坂本 忠司 (三 間) 有馬 伸貴 (三 間)

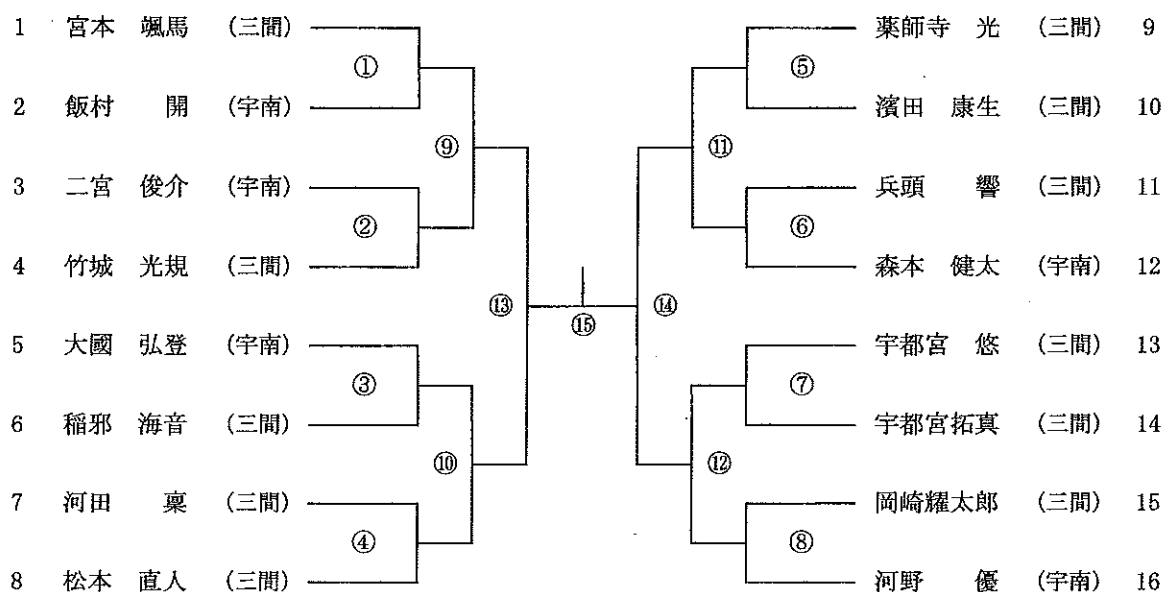
- 参加規程
 - 1 団体戦は、同一校の選手7名以上10名以内と監督またはコーチ1名で構成する。
 - 2 個人戦シングルスは、各校12名以内とする。
 - 3 個人戦ダブルスは、同一校の選手2名で構成し、各校6ペア以内とする。

- 競技方法
 - 1 個人戦 (男女シングルス・男女ダブルス) のみ実施する。
 - 2 1セットマッチ (6ゲームオールタイブレイク) とする。
 - 3 1日目 (個人シングルス) 、2日目 (個人ダブルス) とする。

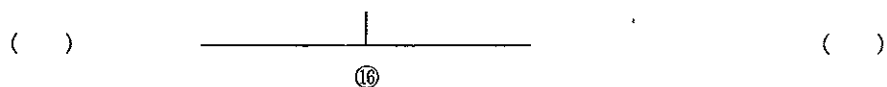
- 競技規定
 - 1 (公財) 日本テニス協会「テニスルールブック」による。
 - 2 審判は、SCU (ソロチェアアンパイア) を原則とする。
 - 3 試合球は、ダンロップ・スリクソンとする。
 - 4 服装は、上下ともテニスウェアとする。(ゼッケン等は必要ない。)

- 注意事項
 - 1 指示があるまでコートには絶対入らないこと。
 - 2 試合前の練習はサービス4本のみとする。
 - 3 個人戦シングルスのみ、各校1名、ボールパーソンをつけることができる。
 - 4 セルフジャッジができない場合は、その時点で失格とする。

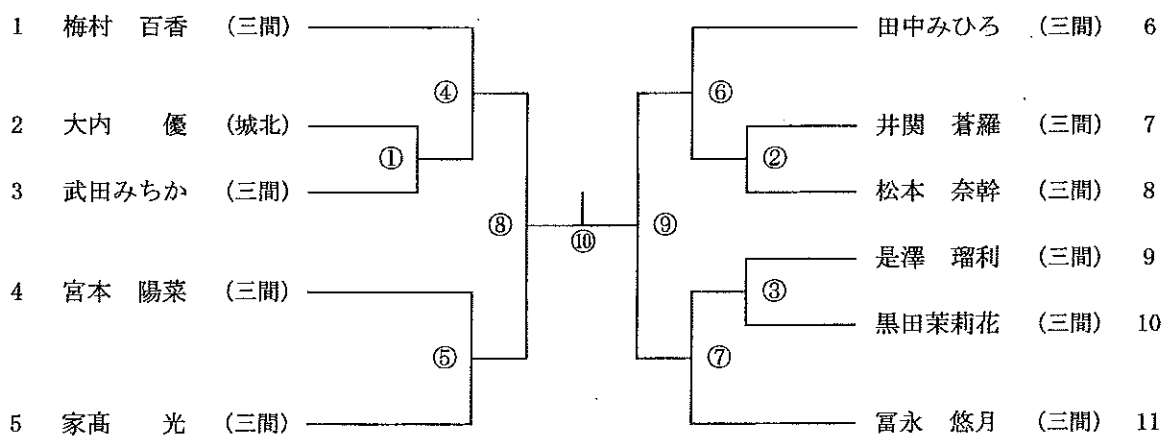
テニス 個人シングルス (男子)



【3位決定戦】



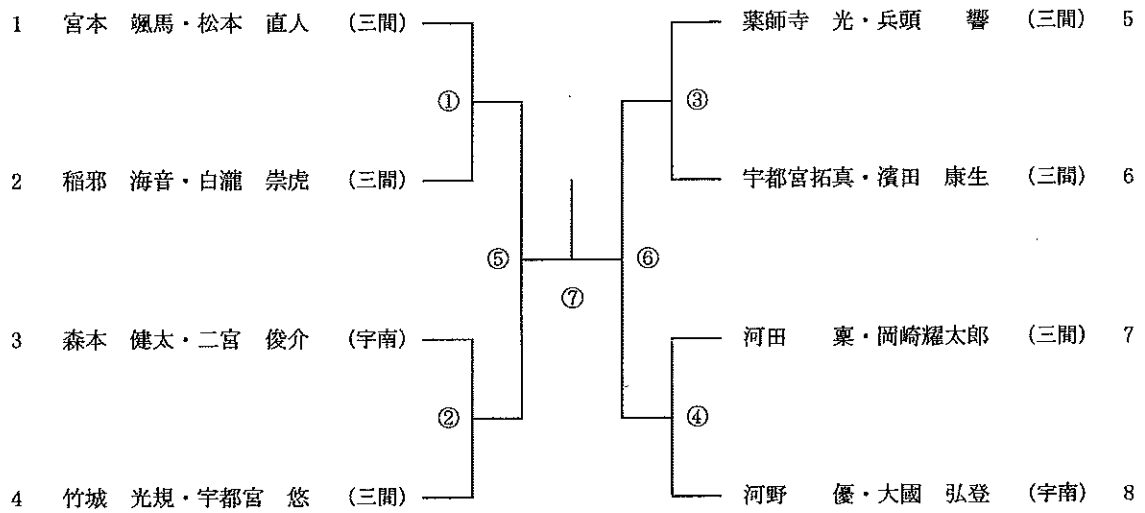
テニス 個人シングルス (女子)



【3位決定戦】



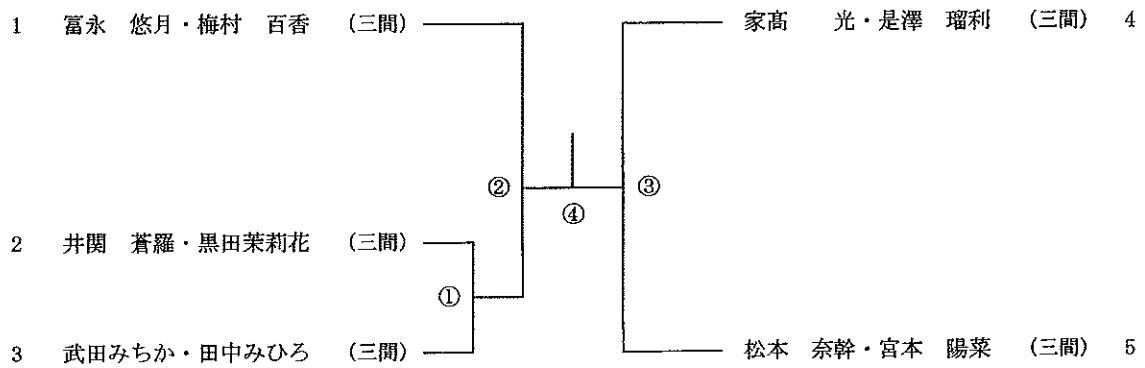
テニス 個人ダブルス (男子)



【3位決定戦】



テニス 個人ダブルス (女子)



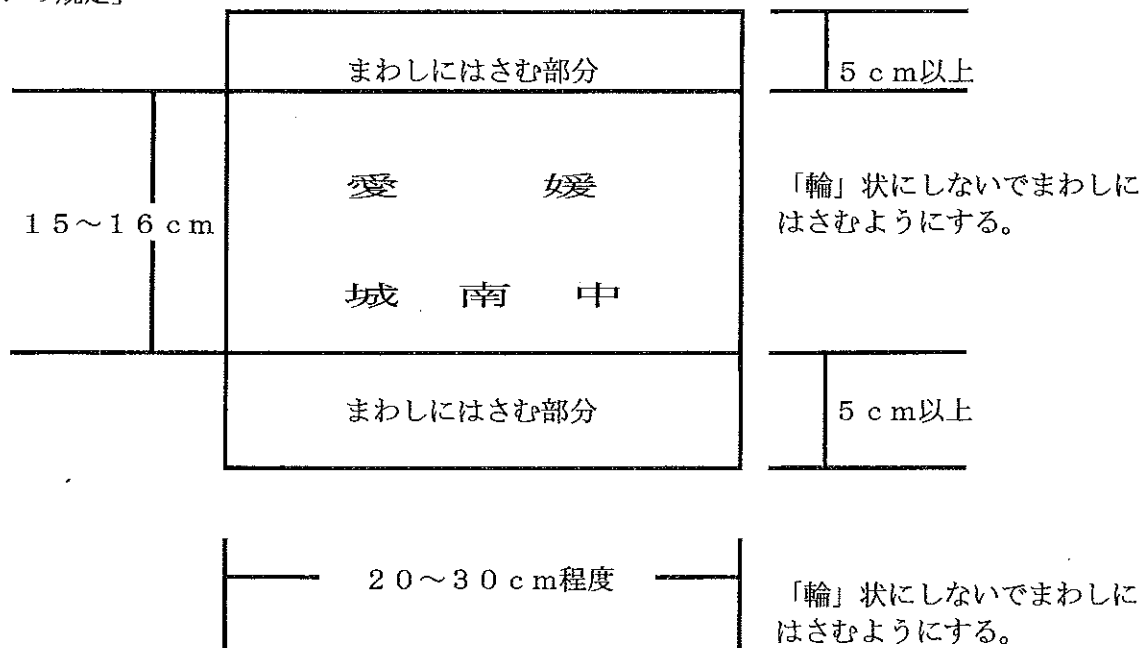
【3位決定戦】



相 撲

- 競技責任者 松崎太一(城南)
- 会場責任者 松崎太一(城南)
- 審判長 松崎太一(城南)
- 審判員
 - 鹿島光広(市相連) 千崎岩宏(市相連) 松下功次(市相連)
 - 坂本浅太郎(市相連) 池田比呂己(市相連)
- 運営員 田中吉次 中井健晴
- 補助員 城南中学校生徒2名
- 競技方法 団体戦はリーグ戦とする。
個人戦は8名以上の場合はゾーンリーグで予選を行い、7名以下の場合には総当たりのリーグ戦とする。
- 競技規定
 1. 日本相撲連盟競技会規程及び審判規程並びに審判規程補則による。
 2. 立合 (1) 主審の掛声により立つ。待ったはなし。もし故意に待ったをする場合は審判団協議の上、負けとすることがある。
(2) 双方とも両手をついて立合う。
 3. 方法 (1) 選手は呼出しに応じ土俵に上り徳俵の内側において立礼を行い、土俵中央に進みそんきよして、主審の合図により仕切に入る。
(2) 勝名乗は、そんきよで受ける。
 4. 団体戦のチーム編成は自由とする。
 5. 団体戦の順位は、勝敗、勝者数で定める。個人戦の順位は、勝敗で定める。
 6. まわしを着用する。アンダーパンツを着用してよい。アンダーパンツは、学校の体操服(短パン)の着用を認める。
 7. 声援は認めるが、サイドコーチと認められるものは禁止する。
 8. まわしの前に必ず校名(ゼッケン)をつける。

[ゼッケンの規定]



※ 字画の太さは、1 cm程度とする。
県名はなくてもよい。

組 合 せ

相撲個人 総当たりリーグ戦

	渡部	平井	豊田	佐々木	小川	越智	勝ち	負け	順位
渡部 (宇南)		13	10	7	4	1			
平井 (城南)			6	11	2	9			
豊田 (城南)				3	8	14			
佐々木 (城南)					15	5			
小川 (城南)						12			
越智 (城南)									

個人戦総当たりリーグ試合順

順	東		勝敗	決まり手	勝敗	西	
1	渡部	宇南				越智	城南
2	平井	城南				小川	城南
3	豊田	城南				佐々木	城南
4	渡部	宇南				小川	城南
5	越智	城南				佐々木	城南
6	平井	城南				豊田	城南
7	渡部	宇南				佐々木	城南
8	小川	城南				豊田	城南
9	越智	城南				平井	城南
10	渡部	宇南				豊田	城南
11	佐々木	城南				平井	城南
12	小川	城南				越智	城南
13	渡部	宇南				平井	城南
14	豊田	城南				越智	城南
15	佐々木	城南				小川	城南

歴 代 優 勝 校

競 技	バレーボール		バスケットボール				卓球		ソフトテニス		軟式野球		ソフトボール		サッカー		柔道		剣道		体操競技		テニス		相撲		陸上競技		水泳競技	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	共	男	女	共	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	回																													
1	城東	吉田	宇南	吉田	宇南	城東	城北	津島	城東	城北	宇和海	城南		宇南	城北	城南	津島	城東	城南	城北	津島			津島	吉田	吉田	城北	吉田		
2	松野	宇南	城東	城東	宇南	城東	津島	城南	城東	城北	城東	城北	城東	津島	津島	城東	城南	城北	城北	津島			津島	吉田	吉田	吉田	宇南			
3	松野	吉田	城東	宇南	城東	津島	広見	城東	宇和海	城北	城東	城北	津島	城北	城東	広見	津島	城北			津島	吉田	城東	宇南	宇南					
4	松野	吉田	城東	城東	城東	津島	津島	城南	宇和海	城北	城東	城北	城北	城北	三間	広見	津島	城北			津島	吉田	城南	宇南	宇南					
5	松野	城北	城東	城東	吉田	広見	日吉	城北	津島	城北	宇南	城北	城北	城北	三間	広見	津島	城北			津島	城北	宇南	宇南	城東					
6	松野	吉田	宇南	城南	城北	広見	日吉	三間	城南	城北	宇南	城北	城北	城北	三間	三間		城北			津島	城北	吉田	城東	吉田					
7	松野	吉田	宇南	宇南	津島	広見	日吉	城南	津島	城北	宇南	城北	城北	城北	三間	三間		城北			津島	吉田	城東	宇南	吉田					
8	松野	吉田	宇南	宇南	城北	津島	日吉	広見	城東	城北	城東	城北	吉田	城北	広見	三間	城北	城北			津島	吉田	城東	宇南	吉田					
9	松野	吉田	城東	城東	城東	広見	城南	城南	広見	城北	城北	城北	城北	城北	三間	三間	城北	城北			城南	吉田	吉田	宇南	吉田					
10	松野	宇南	城東	城東	城北	広見	日吉	日吉	広見	城北	城北	城北	津島	城北	三間	広見	城北	城北			三間	津島	津島	吉田	宇南	吉田				
11	松野	吉田	城東	城東	城北	広見	日吉	城南	三間	城北	城北	城東	津島	城北	広見	三間		城北			三間	津島	城北	宇南	宇南	宇南				
12	松野	城北	宇南	城東	津島	吉田	日吉	日吉	広見	城北	城北	城東	津島	三間	吉田	三間		城北			三間	城南	城北	宇南	宇南	城北				
13																														

